



TCP/IP 企業内・企業間通信ミドルウェア

HULFT7

Windows

エラーコード・メッセージ

- Microsoft、Windows NT、Windows2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Visual C++、Visual Basicは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- i5/OS、z/OS、AIX、RACFは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- MSP、XSPは、富士通株式会社の登録商標です。
- VOS3は、株式会社日立製作所のオペレーティングシステムの名称です。
- ORACLEは、米国Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- HP-UX、Serviceguard、Himalaya、NonStop Serverは、米国Hewlett-Packard Companyの登録商標です。
- Solarisは、米国Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、ReaderはAdobe System Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ACMSは、株式会社データ・アプリケーションの登録商標です。
- CLUSTERPROは、日本電気株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- C4S(R)は、株式会社シーフォーテクノロジーの登録商標です。
- VERITAS Cluster Serverは、米国 Symantec Corporation の米国内およびその他の国における登録商標または商標です。
- DNCWARE ClusterPerfect は、東芝ソリューション株式会社の商標です。
- SteelEye、LifeKeeperは、米国およびその他の国におけるSteelEye Technology, Incの登録商標です。
- OpenSSL License
Copyright (c) 1998-2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- SSLeay License
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- その他の製品名等の固有名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

お願い

- 本書の一部、または全部を無断で他に転載することを禁じます。
- 本書および本製品は、予告なしに変更されることがあります。

はじめに

本書は、Windows上で稼動するHULFT、オプション製品、および関連製品から出力される各エラーコードや終了ステータスの内容や対処、およびログについて解説するマニュアルです。アプリケーション、システムの設計や構築を担当する方、および、日常的にシステムの運用に携わっている方を対象にしています。

・マニュアルの構成

このマニュアルは、以下に示す章で構成されています。

第1章 履歴情報のエラーコード

第2章 終了ステータス

第3章 メッセージ

・マニュアルの表記

<製品名称の表記>

- ・このマニュアルでは、次の製品を総称して「HULFT」と表記しています。

HULFT7 for Windows-ENT

HULFT7 for Windows-M

HULFT7 for Windows-L

- ・各製品を示す場合は、その製品名称で表記しています。

【注意】

- ・HULFT Ver.7では、SAN(Storage Area Network)を経由したファイル転送は、サポートされていません。
- ・HULFT Ver.7では、VOS版の製品はリリースされていません。

<HULFTでのバージョン、レベル、リビジョンの表記と考え方>

HULFTでは、製品のバージョン情報を、次の形式で表しています。

例) 7. 0. 0

: バージョン

: レベル

: リビジョン

の数字がアップする場合を「バージョンアップ」、
の数字がアップする場合を「レベルアップ」、
の数字がアップする場合を「リビジョンアップ」と呼びます。

<コマンドやコントロールカードの説明に使用する表記>

- [] : 大かっこ。このかっこで囲まれた項目は、省略できることを示します。
- { } : 中かっこ。かっこ内の項目の中から1つを選択する必要があることを示します。
- : 繰り返し記号。必要に応じて繰り返し入力する項目を示します。繰り返し記号は、単一の語の後ろにある場合もあれば、大かっこまたは中かっこで囲まれたグループの後ろに示されている場合もあります。形式の中での大かっこまたは中かっこで囲まれた部分は1つの単位とみなすので、繰り返しを指定するときは、その単位で繰り返します。
- | : 縦線。選択項目の区切りに使われます。
- 斜体文字 : 可変値(処理対象や状況に応じた値)を指定することを示します。
例) *yyyymmdd*

カンマ(,)、等号(=)の記号は表示されている位置に入力します。

<コマンドや管理情報の設定値>

- 英大文字 : 英大文字(A~Z)が設定できることを示します。
- 英小文字 : 英小文字(a~z)が設定できることを示します。
- 英字 : 英大文字(A~Z)、および英小文字(a~z)が設定できることを示します。
- 英数字 : 英字(A~Z,a~z)、および数字(0~9)が設定できることを示します。

・マニュアルの利用方法

HULFTでは、HULFTを利用する方や利用目的に応じて、次に示すマニュアルを提供しています。マニュアルの格納場所やファイル名については、インストールCD内のreadmeを参照してください。

「HULFT7 機能説明書」

HULFTの特徴、導入効果やHULFTを構成する各機能の概要を説明するマニュアルです。
HULFTを初めて利用する方やHULFTの導入を担当する方を対象にしています。

「HULFT7 新機能・非互換説明書」

新製品で追加・改善された機能、新製品と下位バージョン製品との互換性や機能制限を説明するマニュアルです。
新たにHULFTを導入する方、バージョンアップを行う方、製品の移行を担当する方を対象にしています。

「HULFT7 Windows 導入マニュアル」

HULFTを導入するための作業の流れ、インストール方法、インストール結果の確認を目的としたファイル転送の疎通テスト手順を説明するマニュアルです。すでにHULFTを利用している環境へ最新のHULFTを導入する場合の手順も説明しています。
HULFTを初めて利用する方や、バージョンアップを行う方を対象にしています。

「HULFT7 Windows アドミニストレーション・マニュアル」

HULFTの稼動環境やシステムの概要と仕組みを解説し、HULFTをWindows上で動作させるために必要な環境設定について説明するマニュアルです。
アプリケーション・システムの設計や構築を担当する方、HULFTの導入を担当する方を対象にしています。

「HULFT7 Windows オペレーション・マニュアル」

HULFTの起動・終了方法、運用に必要なシステム管理情報、管理画面とコマンドの操作、ユーティリティの使い方について説明するマニュアルです。
アプリケーション・システムの設計や構築を担当する方、システムの運用を担当する方を対象にしています。

「HULFT7 Windows エラーコード・メッセージ」(本書)

HULFTから出力される各エラーコードや終了ステータスの内容と対処、およびHULFTから出力されるログについて解説するマニュアルです。

次の機能を利用する場合は、上記のマニュアルに加えて、各機能に対応するマニュアルをお読みください。

<クラスタ対応機能>

「HULFT7 Windows クラスタ対応 マニュアル」

<スケジューラ機能>

「HULFT7 Windows スケジューラ マニュアル」

目 次

第1章 履歴情報のエラーコード	1-1
1.1 履歴情報エラーコード概要	1-2
1.2 完了コード	1-3
1.2.1 CSV変換プログラムの完了コード	1-3
1.2.2 XML変換プログラムの完了コード	1-5
1.2.3 集信プログラムの完了コード	1-7
1.2.4 要求受付プログラムの完了コード	1-10
1.2.5 配信プログラムの完了コード	1-11
1.2.6 メール連携の完了コード	1-13
1.2.7 スケジューラプログラムの完了コード	1-16
1.2.8 システム関連の完了コード	1-17
1.2.9 SAN関連の完了コード	1-21
1.3 詳細コード	1-22
1.3.1 SAN関連の詳細コード	1-22
1.4 管理画面のエラーコードと詳細コード	1-24
1.4.1 管理画面のエラーコード	1-24
1.4.2 管理画面の詳細コード	1-26
1.4.3 ジョブ監視エラーコード	1-27
第2章 終了ステータス	2-1
2.1 コマンド異常終了時の終了ステータスについて	2-2
2.2 集配信要求コマンドの異常終了時の終了ステータス	2-2
2.2.1 配信要求コマンド(utlsend.exe)	2-2
2.2.2 送信要求コマンド(utlrecv.exe)	2-8
2.3 集配信制御コマンド異常終了時の終了ステータス	2-10
2.3.1 配信状況表示コマンド(utlstdisp.exe)	2-10
2.3.2 集信状況表示コマンド(utlrdisp.exe)	2-11
2.3.3 未配信状態キューの変更コマンド(utlschange.exe)	2-12
2.3.4 配信キャンセルコマンド(utlscan.exe)	2-13
2.3.5 集信キャンセルコマンド(utlrcan.exe)	2-14
2.3.6 再配信待ちリスト削除コマンド(utlrsdrm.exe)	2-15
2.4 要求受付コマンド異常終了時のステータス	2-16
2.4.1 ジョブ実行結果通知コマンド(hulsndrc.exe)	2-16
2.4.2 リモートジョブ実行コマンド(utlrjob.exe)	2-18
2.4.3 リモートジョブ実行コマンド(hulrjob.exe)	2-19
2.5 システム管理コマンド異常終了時のステータス	2-20
2.5.1 管理情報バッチ登録コマンド(utliupdt.exe)	2-20
2.5.2 管理情報削除コマンド(utlirm.exe)	2-21
2.5.3 管理情報レコード削除コマンド(utlcomp.exe)	2-22
2.5.4 管理情報パラメータファイル生成コマンド(utligen.exe)	2-23
2.5.5 フォーマット情報表示コマンド(utlilist.exe)	2-24
2.5.6 管理情報関連表示コマンド(utlidlist.exe)	2-25

2.6	履歴制御コマンド異常終了時のステータス	2-26
2.6.1	集配信履歴リスト表示コマンド(utlhist.exe)	2-26
2.6.2	要求受付履歴リスト表示コマンド(utlobslhist.exe)	2-27
2.6.3	集配信履歴削除コマンド(utllog.exe)	2-28
2.6.4	要求受付履歴削除コマンド(utlobsrhist.exe)	2-29
2.6.5	転送情報集計コマンド(utllogcnt.exe)	2-30
2.7	操作ログ制御コマンド異常終了時のステータス	2-31
2.7.1	操作ログ手動切り替えコマンド(utloplchg.exe)	2-31
2.7.2	ファイルアクセスログリスト表示コマンド(utloplhist.exe)	2-34
2.8	サービスの登録・削除コマンド異常終了時のステータス	2-35
2.8.1	サービスの登録・削除コマンド(utlservice.exe)	2-35
2.9	HULFTの起動・停止コマンド異常終了時のステータス	2-36
2.9.1	HULFTの起動・停止コマンド(utlsvccnt.exe)	2-36
2.10	ユーティリティ異常終了時のステータス	2-37
2.10.1	複数ファイル結合コマンド(utljoin.exe)	2-37
2.10.2	結合ファイル分解コマンド(utlbreak.exe)	2-39
2.10.3	結合ファイル表示コマンド(utldspfil.exe)	2-39
2.10.4	ファイルレコード編集コマンド(utlrf.exe)	2-41
2.10.5	複数集信ファイル編集コマンド(utlstore.exe)	2-42
2.10.6	アラート通知コマンド(utlalert.exe)	2-43
2.10.7	Unicode変換コマンド(utlchgunicode.exe)	2-44
2.10.8	外字テーブル展開コマンド(utlgtfextdV.exe)	2-45
2.11	スケジューラコマンドの異常終了時のステータス	2-46
2.11.1	スケジュールキャンセルコマンド(schcancel.exe)	2-46
2.11.2	スケジュール履歴削除コマンド(schrmlog.exe)	2-47
2.11.3	スケジュール履歴リスト表示コマンド(schloglist.exe)	2-48
2.12	クラスタシステムコマンド異常終了時のステータス	2-49
2.12.1	管理情報の二重化コマンド(utladmfleadjoin.exe)	2-49
第3章	メッセージ	3-1
3.1	メッセージについて	3-2
3.2	インフォメーション	3-4
3.2.1	サービスのインフォメーション(I0xxxxx)	3-4
3.2.2	集信のインフォメーション(I1xxxxx)	3-5
3.2.3	要求受付のインフォメーション(I2xxxxx)	3-7
3.2.4	配信のインフォメーション(I3xxxxx)	3-8
3.2.5	スケジューラのインフォメーション(I8xxxxx)	3-10
3.3	ワーニング	3-11
3.3.1	サービスのワーニング(W0xxxxx)	3-11
3.3.2	集信のワーニング(W1xxxxx)	3-15
3.3.3	要求受付のワーニング(W2xxxxx)	3-18
3.3.4	配信のワーニング(W3xxxxx)	3-19
3.3.5	スケジューラのワーニング(W8xxxxx)	3-25
3.3.6	その他のワーニング(WLxxxxx)	3-26

3.4 エラー(軽度)	3-27
3.4.1 集信のエラー(E1xxxxx)	3-27
3.4.2 要求受付のエラー(E2xxxxx)	3-51
3.4.3 配信のエラー(E3xxxxx)	3-58
3.4.4 スケジューラのエラー(E8xxxxx)	3-73
3.4.5 操作ログのエラー(EPxxxxx)	3-76
3.5 エラー(重度)	3-79
3.5.1 サービスのエラー(X0xxxxx)	3-79
3.5.2 集信のエラー(X1xxxxx)	3-82
3.5.3 要求受付のエラー(X2xxxxx)	3-85
3.5.4 配信のエラー(X3xxxxx)	3-88
3.5.5 スケジューラのエラー(X8xxxxx)	3-92

第 1 章

履歴情報のエラーコード

履歴情報のエラーコードについて説明します。

1.1 履歴情報エラーコード概要

履歴情報のエラーコードは完了コードと詳細コードの2種類があります。管理画面の状況照会の各画面で確認できます。完了コードは6桁で表示されますので、下3桁の数字を参照してください。

000000(00000)(完了コード(詳細コード))

また、完了コード、詳細コードは、エラーの発生した処理によって、分類されます。

<表1.1 完了コード>

完了コード	内容	章
180 ~ 198	CSV変換プログラムの完了コード	1.2.1
270 ~ 299	XML変換プログラムの完了コード	1.2.2
400 ~ 429 510 ~ 524 526 ~ 537	集信プログラムの完了コード	1.2.3
430 ~ 449 538 ~ 539	要求受付プログラムの完了コード	1.2.4
450 ~ 463 466 ~ 489 516 525 540 ~ 699	配信プログラムの完了コード	1.2.5
1 ~ 4 102 ~ 106 199 ~ 249	メール連携の完了コード	1.2.6
490 ~ 509	スケジューラプログラムの完了コード	1.2.7
700 ~ 850	システム関連のエラーコード(各プログラム共通)	1.2.8
464 ~ 465 890 ~ 950	SAN関連の完了コード	1.2.9

詳細コードに表示される内容は以下のとおりです。

(1) 完了コードが相手側のエラーの場合

相手機種がzOS、MSP、XSP、VOS3の場合

- ・相手機種の「エラーコード・メッセージ」の「配信側エラー時の詳細コード」
「集信側エラー時の詳細コード」を参照してください。

上記以外の場合

- ・相手機種の「エラーコード・メッセージ」の完了コードを参照してください。

(2) 完了コードが891の場合

SAN転送時のエラーとなります。「1.3.1 SAN関連の詳細コード」を参照してください。

(3) 上記以外の場合

OSの出力するエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

メール連携のエラーコードは、コンソールに表示されるメール連携メッセージでしか確認できません。メッセージはコンソールログファイル(hulcon.log)に出力されますので、コンソールログファイルを参照し、エラーコードを確認してください。

1.2 完了コード

1.2.1 CSV変換プログラムの完了コード

180

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 再度集信を行ってください。

181

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 再度集信を行ってください。

182

内容) 集信ファイルのオープンに失敗しました。

対処1) 集信ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、再度集信を行ってください。

対処2) 集信ファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

183

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

184

内容) CSVファイルのオープンに失敗しました。

対処) 同一名のファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

185

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処1) ディスクの空き容量を確認してください。

対処2) 文字項目タイプ(X,M,N)のエリアにNULLデータが含まれています。NULLデータをCSVファイルに出力することはできません。

186

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

187

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度集信を行ってください。

188

内容) 起動パラメータが不正です。

対処) フォーマット情報のデータタイプを確認後、再度転送を行ってください。

189

内容) 集信ファイルのサイズの取得に失敗しました。

対処1) 集信ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、再度集信を行ってください。

対処2) 集信ファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

190

内容) フォーマット情報の項目タイプにイメージが含まれています。

対処) イメージタイプでデータを転送しないようにしてください。

191

内容) フォーマット情報と集信ファイルのサイズが一致しません。

対処) 集信ファイルサイズが変更された可能性があります。再度集信を行ってください。

192

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

対処) 集信プロセスを再起動して再度集信を行ってください。

193

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

対処) 集信プロセスを再起動して再度集信を行ってください。

194

内容) 配信元ホストで登録されているフォーマット情報と、受信データの内容が一致しません。

対処) 配信元ホストのフォーマット情報と配信データの整合性を確認してください。

195

内容) データ内容が不正です。

対処) 配信データの内容を確認してください。

1.2.2 XML変換プログラムの完了コード

270

内容) 起動パラメータが不正です。

対処) XML変換は単独での起動はできません。

271

内容) 配信元ホストで登録されているフォーマット情報と、受信データの内容が一致しません。

対処) 配信元ホストのフォーマット情報と配信データの整合性を確認してください。

272

内容) 配信元ホストで登録されているフォーマット情報と、受信データの内容が一致しません。

対処) 配信元ホストのフォーマット情報と配信データの整合性を確認してください。

273

内容) XML環境設定ファイルに指定されているフォーマット情報が見つかりません。

対処) 指定されたフォーマット情報の値が不正です。XML環境設定ファイルの内容を確認してください。

274

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度集信を行ってください。

275

内容) 日付項目で変換エラーが発生しました。

対処) 日付項目に不正なデータが含まれています。XML環境設定ファイルの内容を確認してください。

276

内容) XML環境設定ファイルに指定されているフォーマット項目が見つかりません。

対処) 指定されたフォーマット項目の値が不正です。XML環境設定ファイルの内容を確認してください。

280

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

対処1) 集信ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、再度集信を行ってください。

対処2) 集信ファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

281

内容) 集信ファイルのサイズの取得に失敗しました。

対処1) 集信ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、再度集信を行ってください。

対処2) 集信ファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

282

内容) 集信データが0バイトです。

対処) 集信データが0バイトのため、XML変換できません。集信ファイルを確認してください。

283

内容) XMLファイルのオープンに失敗しました。

対処) 同一名のファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

284

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処1) ディスクの空き容量を確認してください。

対処2) 文字項目タイプ(X,M,N)のエリアにNULLデータが含まれています。NULLデータをXMLファイルに出力することはできません。

285

内容) XML環境設定ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 同一名のファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

286

内容) XML環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) XML環境設定ファイルが存在するか、設定に誤りがないか確認してください。

287

内容) XML環境設定ファイルの設定に誤りがあります。

対処) XML環境設定ファイルの設定をもう一度確認してください。

288

内容) スキーマファイルのオープンに失敗しました。

対処) 同一名のファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

289

内容) スキーマファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 同一名のファイルを他の処理で使用していないか確認してください。

1.2.3 集信プログラムの完了コード

400

内容) 受信データまたはワークデータを作成するためのディスクエリアが不足しています。

対処) ディスク上の不要なファイルを削除し、十分な空き容量を確保してから再実行してください。

401

内容) 受信電文のタイプが未定義です。

対処1) 集信ポートに対して配信以外の不正なアプリケーションが接続された可能性があります。使用しているアプリケーションのポート番号を確認してください。

対処2) データ受信時に異常が発生したと考えられますので、再度転送を行ってください。

402

内容) 電文中の項目が不足しています。

対処) データ受信時に異常が発生したと考えられますので、再度転送を行ってください。

403

内容) ファイル情報と実際に受信したデータ長が一致しません。

対処) データ受信時に異常が発生したと考えられますので、再度転送を行ってください。

405

内容) 同名のファイルが存在しています。

対処) 同名のファイルが存在する場合、データを新規モードで登録することはできません。置換モードで再実行してください。また、世代管理を行っている場合は、新たに作成しようとした世代管理ファイルがすでに存在しています。世代管理ファイルを削除した後、再度集信を行ってください。

406

内容) 配信元ホストでエラーが発生しました。

対処) 配信元ホストの配信状況を照会し、適切な処置を行ったのち、再度転送を行ってください。このエラーが発生した場合、詳細エラーコードには配信元ホストのエラーコードが格納されます。エラーコードの内容・対処については、配信元ホストのマニュアルを参照してください。

407

内容) 受信データの圧縮解凍中にエラーが発生しました。

対処) 再度転送を行ってください。

408

内容) 受信したデータのコード変換でエラーが発生しました。

対処1) 配信側のフォーマット情報とデータの整合性を確認してください。

対処2) テキスト転送時で「システム動作環境設定」の「外字未登録時処理(gaijierr)」がエラーにする設定になっています。登録されている外字を確認してください。

対処3) 配信側のシステム動作環境設定と集信側の詳細ホスト情報の漢字コード種、JIS年度が一致しているか確認してください。

409

内容) ファイルがフォーマット転送で送信されてきましたが、配信元にインストールされているHULFT(MainframeあるいはUNIX)のバージョンがV2.x以前です。

対処) MainframeおよびUNIXのV2.x以前のHULFTからはフォーマット転送で集信できません。

410

内容) 集信ファイルサイズが0バイトです。

対処) ファイルサイズが0バイトのデータでは、CSV変換、XML連携、もしくはデータベース連携は行えません。

411

内容) テンポラリファイルの削除に失敗しました。

対処) 集信ファイル作成ディレクトリ内にある「集信ファイル名.tmp.番号.番号」という名前のファイルを削除してください。

412

内容) 世代管理指定時にデータベース連携はできません。

対処) 世代管理を指定している場合、データベース連携はできません。配信元ホストの配信管理情報を再設定してください。

415

内容) 受信データとフォーマット情報およびマルチフォーマット情報が合っているか確認してください。

対処1) マルチフォーマット情報から計算し、キー値が2レコード長をまたがっていないか確認して下さい。

対処2) マルチフォーマット情報に登録されていないキー値が受信データに存在します。

416

内容) システム動作環境設定ファイルの集信ファイル最大サイズの値以上のファイルは集信できません。

対処) システム動作環境設定ファイルの集信ファイル最大サイズを確認してください。

417

内容) メッセージが長すぎます。

対処) メッセージを短く指定してください。

418

内容) HULFT6以降のバージョンではDB連携機能はサポートしていません。

対処) 連携DBIDにはCSV、XML以外は指定しないでください。BB Server、BB ClientではCSV以外は指定しないでください。

419

内容) メッセージに不正な文字列が指定されています。

対処) 各種IDに\$MSGnが指定されている場合は、英数字、記号のみ指定可能です。

420

内容) 集信ファイル名は命名規約違反です。

対処) 配信ファイル名を変更するか\$SNDFILEの指定を行わないでください。

423

内容) 配信側に異常が発生したと考えられます。ただし、集信側の正常時ジョブは正常に終了しています。

対処) 配信状況の照会を行い適切な処理を行った後再実行してください。設定されている詳細コードは配信側の完了コードとなります。

424

内容) ソケットの読み込みに失敗しました。ただし、集信側の正常時ジョブは正常に終了しています。

対処) 配信側の状態が確認できませんでした。ネットワークの状態が不安定な可能性があります。環境の確認をしてください。

425

内容) 環境変数またはメッセージを置換して生成された集信ファイル名が長すぎます。

対処1) 集信ファイルパスを短く指定してください。

対処2) 配信ファイルパスまたは配信ファイル名を短く指定してください。

対処3) メッセージを短く指定してください。

512

内容) キャンセル要求により、集信処理が中断されました。

対処) なし。

513

内容) ファイルが既に存在しているため集信できません。

対処) このエラーは集信管理情報の登録モードが「新規」で、チェックポイントの条件を満たしておらず、集信ファイルが存在し、チェックポイント再配信要求がきた場合に発生します。「チェックポイント再配信を行わない」、「集信ファイルを削除する」、あるいは「集信管理情報をチェックポイントの条件を満たす」ように変更してください。

514

内容) 集信後ジョブが異常終了しました。

対処) 集信ジョブ実行情報でステータスを確認してください。

515

内容) システム動作環境設定ファイルのジョブタイムアウト時間内に後続ジョブが完了しませんでした。

対処) ジョブタイムアウトを確認してください。

516

内容) システム動作環境設定の転送多重度を超えました。

対処) 頻繁にこのエラーが発生する場合は設定値を検討してください。

517

内容) 接続したホストは該当転送グループ情報に登録されていません。

対処) ホスト名を転送グループ情報に登録してください。

526

内容) ソケットクローズ待ちに失敗しましたが、集信は正常終了しました。

対処) ネットワークが断線した可能性があります。ネットワークの環境を確認してください。

530

内容) 配信データ件数・サイズエラーです。

対処) 配信したファイルのレコード数(バイナリはデータサイズ)と、集信されたファイルのレコード数(バイナリはデータサイズ)に違いがあります。フォーマット情報とデータの整合性を確認してください。また、データの形式が、配信管理情報の転送タイプと異なっていないか確認してください。暗号出口ルーチンを使用している場合、暗号キーが正しく設定されているか確認してください。

535

内容) データ検証でエラーが発生しました。

対処) この転送データは通信中にデータの異常や欠落が生じた可能性があります。ネットワークの状態を確認し、再度実行してください。

536

内容) データ検証でエラーが発生しました。

対処) 配信側ホストがデータ検証に未対応のバージョン、もしくは集信管理情報で指定したデータ検証方式に未対応です。配信側ホストのバージョンと集信管理情報のデータ検証の設定を見直してください。

1.2.4 要求受付プログラムの完了コード

430

内容) 認識できない電文タイプを受信しました。

対処) 要求受付ポートに対して配信処理を行っていないか確認してください。

538

内容) 要求発行元ホスト名が、詳細ホスト情報に登録されていません。

対処) 要求発行元ホストからの接続が正しいか確認してください。正しい場合は要求発行元のホストを詳細ホスト情報に登録してください。

539

内容) 要求発行元ホストからのサービスを拒否しました。

対処) 要求発行元ホストからの要求が正しいか確認してください。正しい場合は詳細ホスト情報の受付許可を変更してください。

1.2.5 配信プログラムの完了コード

450

内容) 集信側で異常が発生しました。

対処) 集信側ホストの集信状況を照会し、適切な処置を行ったのち、再度実行してください。
このエラーが発生した場合、詳細エラーコードには集信側ホストのエラーコードが格納されます。エラーコードの内容・対処については、集信側ホストのマニュアルを参照してください。

451

内容) テキストファイルの1レコードの長さが32767を超えました。

対処) 1レコード長が32767バイトを超えるファイルは配信できません。レコードを分割するなどの処置を行って、再度実行してください。

452

内容) データのコード変換でエラーが発生しました。

対処1) フォーマット情報とデータの整合性を確認してください。

対処2) テキスト転送時で「システム動作環境設定」の「外字未登録時処理(gaijierr)」がエラーにする設定になっています。登録されている外字を確認してください。

453

内容) データの圧縮中にエラーが発生しました。

対処) 再度転送を行ってください。

454

内容) 通信先ホストのHULFT間でバージョンエラーが発生しました。

対処1) 相手がMainframeまたはUNIXでHULFTV2.xの時、コード変換は必ず集信側変換のため、配信管理情報のコード変換を集信側変換に設定し、再度実行してください。

対処2) 相手がV5未満の場合、マルチフォーマット転送はできません。

対処3) 相手がV5未満の場合、配信管理情報のブロック長×ブロック数が32767を超える指定はできません。

対処4) 相手がV5未満の場合、2GBを超えるサイズのファイルを配信することはできません。

対処5) 相手がV5未満の場合、集信側変換でシフトコードを「付加しない」という設定はできません。

対処6) HULFT Firewallには接続できません。

対処7) HULFT-HUB Server Ver.2.2未満には接続できません。

455

内容) 受取電文のエラー

対処1) 不正なポートへ接続した可能性があります。相手ホストの集信ポート番号を確認してください。

対処2) 集信側でソケットリードタイムアウトが発生している可能性があります。集信ホストの集信状況を照会し、タイムアウトが発生している場合は、集信ホストのタイムアウト時間を大きく設定してください。

456

内容) 配信したデータと集信されたデータに不整合

対処) 配信したファイルのレコード数(バイナリはデータサイズ)と、集信されたファイルのレコード数(バイナリはデータサイズ)に違いがあります。また、データの形式が、配信管理情報の転送タイプと異なっていないか確認してください。

460

内容) フォーマット情報に登録された内容と配信ファイルの内容が一致しません。

対処) 指定したフォーマットIDでは配信ファイルを扱うことができません。フォーマット情報に登録したフォーマットIDの内容を確認し修正するか、配信ファイルの内容をフォーマットIDと照らし合わせ修正し、再度転送してください。

461

内容) 相手側で転送多重度を超えました。

対処) しばらく待って再度転送を行ってください。

462

内容) チェックポイント配信しようとしたましたが元ファイルとファイルサイズが異なります。

対処) 配信ファイルが更新された可能性があります。通常の配信処理を行ってください。

516

内容) システム動作環境設定の転送多重度を超えました。

対処) 頻繁にこのエラーが発生する場合は設定値を検討してください。

525

内容) 集信側の終了状態を取得できませんでした。集信側は正常終了している可能性があります。

対処) 集信側の完了コードを確認してください。

603

内容) キャンセル要求により、配信処理が中断されました。

対処) なし。

1.2.6 メール連携の完了コード

1

内容) 指定されたメールサーバへの接続またはログオンに失敗しました。
対処) システム動作環境設定ファイルのメール連携情報の設定を確認してください。

2

内容) 指定されたユーザアカウント名がメールサーバに存在しません。
対処) システム動作環境設定ファイルのアカウント名の設定を確認してください。

3

内容) 指定されたメールサーバが存在しません。
対処) システム動作環境設定ファイルのメールサーバホストの設定を確認してください。

4

内容) 添付ファイルが読み込めない、またはメールサーバでエラーが発生しました。
対処1) 指定された添付ファイルの参照権限を確認してください。
対処2) システム動作環境設定ファイルのメールサーバホストの設定を確認してください。

102

内容) メール連携IDの先頭文字が英字で始まっていません。
対処) メール連携情報の設定を確認してください。

103

内容) メール連携IDに不正な文字が含まれています。
対処) メール連携情報の設定を確認してください。

104

内容) メール連携情報ファイルに対するアクセス権がありません。
対処) メール連携情報ファイル(メール連携ID.mai)に対して、アクセス権を設定してください。

105

内容) メール連携情報が不正です。
対処) メール連携情報の登録を、再度行ってください。

106

内容) メール連携情報ファイルが存在しません。
対処) メール連携情報を登録してください。

201

内容) メール環境設定ファイルが存在しません。
対処) システム動作環境設定ファイルのメール連携の環境設定をしてください。

202

内容) メール環境設定ファイルが不正です。
対処) システム動作環境設定ファイルのメール連携の環境設定を、再度行ってください。

203

内容) メール環境設定ファイルに対するアクセス権がありません。
対処) メール環境設定ファイル(sendmail.ini)に対して、アクセス権を設定してください。

204

内容) メール環境設定ファイル内の記述形式に誤りがあります。
対処) メール環境設定ファイルが不正です。再度、環境設定をしてください。

205

内容) メール環境設定ファイル内の記述形式に誤りがあります。
 対処) メール環境設定ファイルが不正です。再度、環境設定をしてください。

211

内容) メール環境設定ファイルのアカウント指定に誤りがあります。
 対処) システム動作環境設定のアカウントの設定を確認してください。

212

内容) メール環境設定ファイルのメールサーバホスト名の指定に誤りがあります。
 対処) システム動作環境設定のメールサーバホスト名の設定を確認してください。

213

内容) メール環境設定ファイルのSMTPポートNo.の指定に誤りがあります。
 対処) システム動作環境設定のSMTPポートNo.の設定を確認してください。

214

内容) メール環境設定ファイルのフルネームの指定に誤りがあります。
 対処) システム動作環境設定のフルネームの設定を確認してください。

215

内容) メール環境設定ファイルのドメイン名の指定に誤りがあります。
 対処) システム動作環境設定のドメイン名の設定を確認してください。

222

内容) メール環境設定ファイルに不明なレコードが存在します。
 対処) メール環境設定ファイルが不正です。再度、環境設定をしてください。

234

内容) メール連携情報ファイルの記述に誤りがあります。
 対処) メール連携情報ファイルが不正です。再度、メール連携情報を設定してください。

235

内容) メール連携情報ファイルの記述に誤りがあります。
 対処) メール連携情報ファイルが不正です。再度、メール連携情報を設定してください。

241

内容) メール連携情報ファイルの表題の指定に誤りがあります。
 対処) メール連携情報の表題の設定を確認してください。

242

内容) メール連携情報ファイルの宛先アドレスの指定に誤りがあります。
 対処) メール連携情報の宛先の設定を確認してください。

243

内容) メール連携情報ファイルの同報アドレスの指定に誤りがあります。
 対処) メール連携情報の同報アドレスの設定を確認してください。

244

内容) メール連携情報ファイルの添付ファイルの指定でワイルドカードが使用されています。
 対処) 添付ファイルは1ファイルをフルパスで指定してください。

245

内容) メール連携情報ファイルの添付ファイル名の指定に誤りがあります。
 対処) 添付ファイル名が正しく設定されているか、確認してください。

246

内容) メール連携情報ファイルの添付ファイル指定に誤りがあります。

対処) 添付ファイルの指定が正しいか、確認してください。

1.2.7 スケジューラプログラムの完了コード

490

内容) 今日のスケジュールがキャンセルされました。

対処) なし。

491

内容) システムが不安定になりスケジューリングに失敗しました。

対処) 再度スケジュールプロセスを起動し、スケジューリングしてください。

492

内容) 同時刻にスケジュール多重度以上スケジューリングされています。

対処) スケジュール多重度を確認してください。

1.2.8 システム関連の完了コード

700

内容) アプリケーションを継続するためのメモリが不足しました。

対処1) 他の不必要なアプリケーションを終了するなどして、再実行してください。

対処2) ページファイルのサイズを拡張してください。

701

内容) ファイルをオープンする事ができません。

対処) 指定したディレクトリが存在しない、書き込みが許可されていない等の原因が考えられますので、環境の確認をしてください。

702

内容) ファイルを読み込む事ができません。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

703

内容) ファイルに書き込むことができません。

対処) ディスクフルやOSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

704

内容) ファイルポインタの移動に失敗しました。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

706

内容) ファイル(ワークファイル等)の削除に失敗しました。

対処) 他の処理や、アプリケーションによって使用中の可能性があります。確認してください。

707

内容) データ書き込みの最中、他のプロセス(スレッド)によってファイルが作成されるなどしてディスクに空きがなくなりました。

対処) データを作成しようとするディスク上の不要なファイルを削除し、十分な空き容量を確保してから再実行してください。

708

内容) ディスクに異常が発生しました。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

709

内容) プロセスの生成、プロセス間通信など、プロセス関連の動作でエラーが発生しました。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

710

内容) ソケットの生成、コネクトなど、ソケット関連の動作でエラーが発生しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

712

内容) ディレクトリがありません。

対処) ディレクトリがあるか確認してください。

713

内容) ファイルまたはディレクトリの検索に失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

720

内容) システム時間の取得に失敗しました。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

721

内容) 子プロセスでエラーが発生しました。

対処) 詳細エラーコードに子プロセスのステータスが記録されています。子プロセスのエラーコードを参照し、その対処を行った後、再度実行してください。要求受付処理のSEND・RESENDサービスの場合は、配信要求コマンド(utlsend)のエラーコードを参照してください。HULRJOBサービスの場合はリモートジョブ実行コマンドを参照してください。

729

内容) 受け付けたサービスの情報が要求受付定義ファイルに存在しません。サポートされていないサービス要求を受け付けた可能性があります。

対処) 要求受付定義ファイルの内容を確認してください。

730

内容) プログラム例外が発生しました。

対処) プロセスを再起動し、再度実行してください。

731

内容) 送信処理に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。詳細エラーコードを参照してください。

732

内容) 受信処理に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。詳細エラーコードを参照してください。

734

内容) ロックの確保あるいは開放に失敗しました。

対処) 再度実行してください。

735

内容) データの受信処理でタイムアウトが発生しました。

対処1) ソケットリードタイムアウトの設定を大きくしてください。

対処2) ソケットの異常、OSの異常、または処理スピードなどの問題が考えられます。環境を確認してください。

736

内容) ホスト名の取得に失敗しました。

対処) hostsファイルに相手ホスト名が記述されているか確認してください。

738

内容) 転送で使用した機能は相手側のHULFTではサポートしていません。

対処) 相手側HULFTのバージョンを確認してください。

739

内容) ドライブ名の取得に失敗しました。

対処) 指定したファイルのドライブの確認を行ってください。

740

内容) 指定したドライブに誤りがあります。

対処) 指定したドライブの確認を行ってください。

742

内容) パイプからのデータの読み込みに失敗しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

743

内容) パイプへのデータの書き込みに失敗しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

744

内容) ファイルのコピーに失敗しました。
対処) コピー先のファイルがすでに存在している可能性があります。削除してから再度実行してください。

745

内容) ファイルのリネームに失敗しました。
対処) リネームしようとしたファイルがすでに存在している可能性があります。ファイルを削除してから再度実行してください。

747

内容) 同期イベントの作成・オープンに失敗しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

748

内容) ミューテックスの作成に失敗しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

749

内容) マップファイルの作成に失敗しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

750

内容) 暗号化および解読に失敗しました。
対処) 指定した暗号キーを確認してください。暗号ライブラリが存在するか確認してください。

751

内容) 指定されたデータが正しくありません。
対処) システム動作環境設定ファイルや、管理情報の登録内容を確認してください。

752

内容) デスクトップへのアクセスでエラーが発生しました。
対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

753

内容) スレッドの作成に失敗しました。システムのリソースが不足している可能性があります。
対処) 一度マシンの再起動を行い、再度実行してください。

754

内容) 相手ホストで異常が発生しました。
対処) 相手ホストのエラーコードを確認し、適切な処置を行ったのち、再度実行してください。

763

内容) 接続形態が正しくありません。
対処) 詳細ホスト情報の接続形態を確認してください。

764

内容) DLLのロードに失敗しました。

対処) コンソールを参照し、指定されたDLLが存在するか確認してください。

765

内容) プロシージャのアドレスが見つかりません。

対処) DLLのバージョンが古い可能性があります。再度インストールを行ってください。

766

内容) サーバ側ソケットオープンに失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

767

内容) サーバ側ソケットサイズエラーが発生しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

768

内容) サーバ側バインドに失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

769

内容) サーバ側リッスンに失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

770

内容) クライアント側ソケットオープンに失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

771

内容) クライアント側ソケットサイズエラーが発生しました。

対処) 詳細エラーコードを参照してください。

772

内容) システム動作環境設定ファイルで指定したIPバージョンでのホスト名解決ができません。

対処) 接続先ホスト名、IPバージョン、DNS、ネットワーク環境などを確認してください。

773

内容) レジストリキーをオープンする事ができません。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

774

内容) レジストリエントリを読み込む事ができません。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

775

内容) 製品がインストールされていません。

対処) OSの異常等が考えられますので、環境を確認してください。

802

内容) 管理ファイルに該当情報が存在しません。

対処) 管理情報に追加した後、再度実行してください。

1.2.9 SAN関連の完了コード

464

内容) 集信側ホストのバージョンはSAN転送が行えるバージョンではありません。

対処) 詳細ホスト情報の設定を見直してください。

465

内容) 集信側ホストは対応するSAN連携オプションが導入されていません。

対処) 詳細ホスト情報の接続形態の設定を見直してください。

890

内容) データセットへのアクセスでエラーが発生しました。

対処) データセットへのアクセス処理でエラーが発生しました。履歴の詳細コードから1000を引いた値を用いて、HMDEユーザズガイドを参照してください。

891

内容) 管理情報の不整合などによりSAN転送でエラーが発生しました。

対処) HULFTの管理情報などの設定により、エラーが発生しました。履歴の詳細コードを用いて、SAN関連の詳細エラーコードを参照してください。

893

内容) RAID連携プロトコルで不整合が発生しました。

対処) 何らかの原因で配信プロセスが不安定になりました。再起動を行ってください。相手側ホストに原因がある場合も考えられるため、相手側ホストの環境も確認してください。

900

内容) SAN連携を行うことができません。

対処) 履歴の詳細コードを使用して、HULFT-SANのマニュアルを参照してください。

901 ~ 949

内容) XLデータムーバ連携においてエラーが発生しました。XLデータムーバAPIのエラーです。

対処) 下2桁がXLデータムーバAPIでの詳細コードです。また、詳細コードはXLデータムーバAPIでのエラーコードです。XLデータムーバAPIマニュアルを参照してください。

例) 9XX-YYYの場合、XXはXLデータムーバの詳細コードを表し、YYYはXLデータムーバのエラーコードを表しています。

950

内容) XLデータムーバ連携においてエラーが発生しました。XLデータムーバAPIのエラーです。

対処) XLデータムーバAPIで定義されていないエラーコードです。また、詳細コードはXLデータムーバAPIでのエラーコードです。XLデータムーバAPIマニュアルを参照してください。

1.3 詳細コード

1.3.1 SAN関連の詳細コード

SAN転送を使用したときの詳細コードを示します。

100

内容) ボリューム定義ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ボリューム定義ファイルがbinntディレクトリに存在するか、正しいアクセス権が設定されているか確認してください。

101

内容) ボリューム定義ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ボリューム定義ファイルの内容を確認してください。

102

内容) ボリューム定義ファイルのフォーマットが不正です。

対処) ボリューム定義ファイルの内容を確認してください。

104

内容) ボリューム定義ファイル内に該当するレコードが見つかりませんでした。

対処) メインフレーム側で設定されているボリューム情報が、ボリューム定義ファイル内に存在するか確認してください。

200

内容) ファイルのベリファイ処理で配信ファイル側に余剰レコードが見つかりました。

対処) データセットのレコードが追加されたか(集信の場合)、削除された(配信の場合)可能性があります。他のプロセスがデータセットにアクセスしていないか確認してください。

201

内容) ファイルのベリファイ処理で集信ファイル側に余剰レコードが見つかりました。

対処) データセットのレコードが追加されたか(配信の場合)、削除された(集信の場合)可能性があります。他のプロセスがデータセットにアクセスしていないか確認してください。

202

内容) ファイルのベリファイ処理でレコードの差異がありました。

対処) データセットのデータが更新された可能性があります。他のプロセスがデータセットにアクセスしていないか確認してください。

203

内容) 詳細ホスト情報にPROXYの設定があります。

対処) SAN転送を行う場合は、PROXYの設定を行わないでください。

204

内容) ボリューム通番の指定がありません。

対処) 汎用機側の集信管理情報のボリューム通番が正しく設定されているか確認してください。

205

内容) 配信ファイルサイズが2GB超です。

対処) SAN転送では2GB超のファイル転送はサポートされていません。LAN経由でデータを転送してください。

206

内容) コード変換が集信側に設定されています。

対処) SAN転送を行う場合は、配信管理情報のコード変換に「配信側」または「無変換」を指定してください。

207

内容) データセットに書き込むレコード長が長すぎます。

対処) データセットのレコード長、配信ファイルのレコード長を確認してください。

208

内容) 相手ホスト種が不正です。

対処) 相手ホスト種が汎用機かどうか詳細ホスト情報を確認してください。

209

内容) 相手ホストにHULFT-SAN(H)が導入されていません。

対処) 相手ホストにHULFT-SAN(H)が導入されているか確認してください。

210

内容) FALに指定したサイズとデータセットに書き込んだサイズが一致しません。

対処) 集信側で十分なデータセットの領域が確保されているかどうか確認してください。

1.4 管理画面のエラーコードと詳細コード

1.4.1 管理画面のエラーコード

管理画面で表示されるメッセージボックスの2桁のコードについて示します。

- 00 正常に終了しました。
内容) 処理は正常に終了しました。
対処) なし
- 01 該当する情報は存在しません。
内容) 履歴ファイル、管理情報ファイルがないか、該当する情報がありません。
対処) 履歴の検索条件を確認してください。管理情報を登録してください。
- 03 データアクセスエラー
内容) ファイルが壊れているか、環境が不正です。
対処) インストール環境を確認してください。
- 04 メモリエラー
内容) メモリが不足しています。
対処) 他のアプリケーションを終了してください。必要のない画面を閉じてください。
- 05 ファイルオープンエラー
内容) ファイルのオープンに失敗しました。
対処) インストール環境を確認してください。履歴ファイル、管理情報ファイルに権限を与えてください。
- 06 セキュリティエラー
内容) 履歴ファイル、管理情報ファイルに権限がありません。
対処) 履歴ファイル、管理情報ファイルに権限を与えてください。
- 07 コマンド発行に失敗しました。
内容) 要求発行、または、削除処理に失敗しました。
対処) インストール環境を確認してください。
- 08 削除に失敗しました。
内容) 該当情報が存在しないか、ファイルが壊れています。
対処) 最新の情報で該当情報が存在するか確認してください。インストール環境を確認してください。
- 09 履歴がありません。
内容) 履歴ファイルがないか、該当する履歴がありません。
対処) 履歴の検索条件を確認してください。
- 10 要求発行に失敗しました。
内容) 指定したファイルID、ホスト名が存在しない可能性があります。配信、集信プロセスが起動されていない可能性があります。
対処) ファイルID、ホスト名を確認してください。配信、集信プロセスが起動されているか確認してください。
- 11 ユーザ名、又はパスワードが不正です。
内容) ログイン時のユーザ名、または、パスワードが間違っています。
対処) ユーザ名、パスワードを確認してください。

99 システムエラー

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

対処) インストール環境を確認してください。

FF エラーが発生しました。

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

対処) 詳細メッセージ、詳細コードを参照してください。

1.4.2 管理画面の詳細コード

管理画面で表示されるメッセージボックスの詳細コードについて示します。

30005

内容) システムが不安定になりました。

対処) 管理画面を立ち上げ直してください。

30099

内容) システムが不安定になりました。

対処) 管理画面を立ち上げ直してください。

706

内容) HULPATHで設定されているディレクトリにuserhday.dat、scholiday.datがありません。

対処) インストールディスクからコピーしてください。

「配信要求」「再配信要求」「送信要求」「再送要求」時の詳細コードは「2.1 コマンド異常時の終了ステータスについて」を参照してください。

HULFTサービス起動時のエラーコードはエラー発生時にOSが返します。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

その他のコードについては、サポート契約を締結されていて、サポートをお受けになる場合に必要となる情報です。

1.4.3 ジョブ監視エラーコード

管理画面の「配信情報詳細」画面から集信側ジョブ参照を行った場合に表示される、メッセージボックスのメッセージの最後のエラーコードについて説明します。

101

内容) パラメータエラーです。

対処) 一度、管理画面を再起動し、再度実行してください。

103

内容) 相手ホストへの接続でエラーが発生しました。

対処1) 詳細ホスト情報に登録されている要求受付ポートが正しいか確認してください。

対処2) 相手ホストの要求受付プログラムが起動しているか確認してください。

104

内容) データの送信でエラーが発生しました。

対処) 通信エラーが発生しました。詳細エラーコードを参照してください。

105

内容) データの受信でエラーが発生しました。

対処) 通信エラーが発生しました。詳細エラーコードを参照してください。

106

内容) 詳細ホスト情報に相手ホストが登録されていません。

対処) 詳細ホスト情報を参照し、相手ホストが登録されているか確認してください。

112

内容) 相手ホストで処理がキャンセルされました。

対処) 相手ホストの要求受付履歴を確認してください。

113

内容) 相手ホストでエラーが発生しました。

対処) 相手ホストの要求受付履歴を確認してください。

115

内容) メモリ不足です。

対処) 他の不要なアプリケーションを停止してください。

117

内容) システムエラーが発生しました。

対処) 一度、管理画面を再起動し、再度実行してください。

118

内容) 該当情報がありませんでした。

対処) 集信後ジョブが起動されていないか、実行中です。

..... め ~

第2章

終了ステータス

コマンドの終了ステータスについて説明します。

2.1 コマンド異常終了時の終了ステータスについて

各コマンドは正常終了した場合、「0」のexitコードで終了します。異常終了した場合、「0」以外のexitコードで終了しメッセージを出力します。コマンドプロンプト等でコマンドを実行し、終了ステータスを使用する際に参照してください。

2.2 集配信要求コマンドの異常終了時の終了ステータス

2.2.1 配信要求コマンド(utlsend.exe)

21 Parameter Error.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 配信優先度は1～256までの数値を指定してください。

22 Parameter Error.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 配信優先度は1～256までの数値を指定してください。

23 Parameter Error.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 配信ファイル名は200バイトまでで指定してください。

24 System Error.

内容) システムエラーが発生しました。

対処) TCP/IPの設定を確認してください。

25 System Error.

内容) システムエラーが発生しました。

対処) TCP/IPの設定を確認してください。

29 No information.

内容) 配信管理情報に該当情報がありません。

対処) 配信管理情報に該当ファイルIDを登録してください。

30 Security err.

内容) 配信管理情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 配信管理情報ファイル(hulsnddb)のアクセス権を確認してください。

31 No information.

内容) 配信管理情報がありません。

対処) 配信管理情報を登録してください。

32 Access denied.

内容) 配信管理情報の読み込みに失敗しました。

対処) 配信管理情報が壊れていないか、管理画面で参照して確認してください。

33 No information.

内容) 転送グループ情報に該当情報がありません。

対処) 配信管理情報で登録されている転送グループIDを転送グループへ登録してください。

34 Security err.

内容) 転送グループ情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 転送グループ情報ファイル(hulrhtdb)のアクセス権を確認してください。

- 35 No information.
内容) 転送グループ情報がありません。
対処) 転送グループ情報を登録してください。
- 36 Access denied.
内容) 転送グループ情報の読み込みに失敗しました。
対処) 転送グループ情報が壊れていないか、管理画面で参照してください。
- 37 No information.
内容) 詳細ホスト情報に該当情報がありません。
対処) 詳細ホスト情報に配信先ホストを登録してください。
- 38 Security err.
内容) 詳細ホスト情報にセキュリティ権限がありません。
対処) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)のアクセス権を確認してください。
- 39 No information.
内容) 詳細ホスト情報がありません。
対処) 詳細ホスト情報を登録してください。
- 40 Access denied.
内容) 詳細ホスト情報の読み込みに失敗しました。
対処) 詳細ホスト情報が壊れていないか、管理画面で参照して確認してください。
- 41 hostname Error.
内容) 再配信要求時にホスト名が未入力です。
対処) 再配信要求を行う場合は配信先ホストを指定してください。
- 43 trgp Error.
内容) 再配信要求時に転送グループIDが入力されました。
対処) 再配信要求を行う場合は転送グループIDの動的指定はできません。
- 44 Parameter Error.
内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 再配信要求を行う場合は同期転送の指定はできません。
- 45 Parameter Error.
内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 配信要求を行う場合はホスト名の指定はできません。ファイルIDを指定してください。
- 46 Can not use [-w].
内容) 同期転送でない時にタイムアウト値が指定されました。
対処) 「-w」パラメータは同期転送を行う場合のみ指定できます。
- 47 Can not use [-file][-t][-h].
内容) ファイル名、転送グループ、ホスト名の動的指定はできません。
対処1) 配信ファイル名、転送グループ、ホスト名の動的指定を行わないでください。
対処2) システム動作環境設定ファイルで動的変更指定が可能になるように設定してください
(dynparamを1に設定してください)。
- 48 Can not use [-file][-t][-h].
内容) ファイル名、転送グループ、ホスト名の動的指定はできません。
対処1) 配信ファイル名、転送グループ、ホスト名の動的指定を行わないでください。
対処2) システム動作環境設定ファイルで動的変更指定が可能になるように設定してください
(dynparamを1に設定してください)。

49 System Error.

内容) システムエラーが発生しました。

対処) リソースが不足している可能性があります。システムリソースを確認してください。

50 System Error.

内容) システムエラーが発生しました。

対処) リソースが不足している可能性があります。システムリソースを確認してください。

52 Cannot require.

内容) プロセスへの接続エラーが発生しました。

対処1) 配信プロセスが起動しているか確認してください。

対処2) 配信受付ポート番号が正しいか確認してください。

53 System Error.

内容) HULFT内部で通信エラーが発生しました。

対処) 配信プロセスが異常終了していないか確認してください。

58 Time Out.

内容) タイムアウトが発生しました。

対処1) ソケットリードタイムアウトの設定を大きくしてください(同期転送時はソケットリードタイムアウトまたは[-w]の値)。

対処2) ソケットの異常、OSの異常、または処理スピードなどの問題が考えられます。環境を確認してください。

78 All send file operation canceled.

内容) 同期転送で、すべての転送がキャンセルされました。

79 Part send file operation canceled.

内容) 同期転送で、いくつかの転送がキャンセルされました。

99 Parameter Error.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

101 No information.

内容) 管理情報が変更されました。

対処) 配信中に管理情報の変更を行わないようにしてください。

103 No information.

内容) 配信管理情報に該当情報がありません。

対処) 配信管理情報に該当ファイルIDを登録してください。

104 Access denied.

内容) 配信管理情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 配信管理情報ファイル(hulsnddb)のアクセス権を確認してください。

105 No information.

内容) 配信管理情報がありません。

対処) 配信管理情報を登録してください。

106 Open Error.

内容) 配信管理情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 配信管理情報が壊れていないか、管理画面で確認してください。

107 Can not Use File Clear/Delete/Lock.

内容) 同報配信を行う場合は、配信ファイルの扱いで「保存」以外は指定できません。

対処) 同報配信を行う場合は、配信ファイルの扱いで「保存」を指定してください。

108 Can not Use File Clear/Delete/Lock.

内容) 同報配信を行う場合は、配信ファイルの扱いで「保存」以外は指定できません。

対処) 同報配信を行う場合は、配信ファイルの扱いで「保存」を指定してください。

110 No information.

内容) 転送グループ情報に該当情報がありません。

対処) 配信管理情報で登録されている転送グループIDを転送グループ情報へ登録してください。

111 Access denied.

内容) 転送グループ情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 転送グループ情報ファイル(hulrhtdb)のアクセス権を確認してください。

112 No information.

内容) 転送グループ情報がありません。

対処) 転送グループ情報を登録してください。

113 Open Error.

内容) 転送グループ情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 転送グループ情報が壊れていないか、管理画面で確認してください。

114 No information.

内容) 送信要求を発行したホストが転送グループ情報に存在しません。

対処) 要求元ホストを転送グループに追加してください。

115 No information.

内容) 詳細ホスト情報に該当情報がありません。

対処) 詳細ホスト情報に配信先ホストを登録してください。

116 Access denied.

内容) 詳細ホスト情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)のアクセス権を確認してください。

117 No information.

内容) 詳細ホスト情報がありません。

対処) 詳細ホスト情報を登録してください。

118 Open Error.

内容) 詳細ホスト情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 詳細ホスト情報が壊れていないか、管理画面で参照して確認してください。

119 No information.

内容) 詳細ホスト情報に該当情報がありません。

対処) 詳細ホスト情報に配信先ホストを登録してください。

120 Access denied.

内容) 詳細ホスト情報にセキュリティ権限がありません。

対処) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)のアクセス権を確認してください。

121 No information.

内容) 詳細ホスト情報がありません。

対処) 詳細ホスト情報を登録してください。

122 Open Error.

内容) 詳細ホスト情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 詳細ホスト情報が壊れていないか、管理画面で確認してください。

- 123 Access denied.
 内容) 再配信待ちファイルにセキュリティ権限がありません。
 対処) 再配信待ちファイル(sddreqls.dat)のアクセス権を確認してください。
- 124 No information.
 内容) 再配信待ちファイルが存在しません。
- 127 Memory Error(%d).
 内容) メモリエラーが発生しました。
 対処) リソースが不足している可能性があります。システムリソースを確認してください。
- 129 Write Error.
 内容) 再配信待ちファイルの書き込みに失敗しました。
 対処) ディスクの空き容量を確認してください。
- 130 No information.
 内容) 再配信待ちに該当情報がありません。
 対処) 再配信待ちファイルに該当情報が存在しません。
- 133 All Failure.
 内容) 同期転送で、すべての転送が失敗しました。
 対処) 配信履歴を参照してください。
- 134 Part Failure.
 内容) 同期転送で、いくつかの転送が失敗しました。
 対処) 配信履歴を参照してください。
- 135 Terminated By User.
 内容) 同期転送を行うべきファイルに未配信のものがある状態で、配信プロセスの停止要求が行われました。そのため、配信プロセスを再起動して配信を再開した場合、未配信ファイルは同期転送されません。
- 136 System Error.
 内容) 同期転送を行うべきファイルに未配信のものがある状態で、何らかの理由により配信プロセスが終了しました。配信プロセスを再起動してください。配信プロセスを再起動して配信を再開した場合、未配信ファイルは同期転送されません。
- 137 exec prejob failure.
 内容) 配信前ジョブの起動に失敗しました。
 対処) 起動するジョブが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 138 prejob abnormal end.
 内容) 配信前ジョブが異常終了しました。
 対処) 起動するジョブが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 139 prejob wait timeout.
 内容) 配信前ジョブがタイムアウトしました。
- 140 Invalid connect type(%d).
 内容) 接続形態が不正です。
 対処) 接続形態を確認してください。
- 141 Can't get option information(%d).
 内容) オプション情報の取得に失敗しました。
 対処1) HULPATHの設定を確認してください。
 対処2) HULFT-SANを再インストールしてください。

142 Can't get system information(%d).

内容) OS情報の取得に失敗しました。

対処) マシンを再起動してください。

143 \$MSGn setting error in send management information.

内容) \$MSGnの配信管理情報設定エラーが発生しました。

対処) 配信要求コマンドに渡された-msgnパラメータが正しいか確認してください。

配信管理情報の\$MSGnが適切に設定されているか確認してください。

146 \$MSG replace error - file name too long.

内容) \$MSGnを配信ファイル名に置き換えた時、文字数オーバーしました。

対処) \$MSGnを配信ファイル名に指定した場合、\$MSGnを200バイト以内で指定してください。

147 \$MSG replace error - transfer group ID too long.

内容) \$MSGnを転送グループIDに置き換えた時、文字数オーバーしました。

対処) \$MSGnを転送グループIDに指定した場合、\$MSGnを8バイト以内で指定してください。

148 \$MSG replace error - prejob ID too long.

内容) \$MSGnを配信前ジョブIDに置き換えた時、文字数オーバーしました。

対処) \$MSGnを配信前ジョブIDに指定した場合、\$MSGnを8バイト以内で指定してください。

149 \$MSG replace error - startup job too long.

内容) \$MSGnをジョブパスに置き換えた時、文字数オーバーしました。

対処) \$MSGnをジョブパスに指定した場合、\$MSGnを60バイト以内で指定してください。

179 Wrong Transfer Protocol.

内容) 詳細ホスト情報の通信手順が不正です。

対処) 詳細ホスト情報を確認してください。

245 Memory Error(%d).

内容) 要求先でホスト別多重度リスト構造体のアロケートエラーが発生しました。

対処) 不要なプログラムを終了し、再度処理を実行してください。

246 Memory Error(%d).

内容) 要求先でキューリスト構造体のアロケートエラーが発生しました。

対処) 不要なプログラムを終了し、再度処理を実行してください。

2.2.2 送信要求コマンド (utlrecv.exe)

1

内容) パラメータの指定が不正です。
対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

2

内容) 自ホスト名の取得に失敗しました。
対処) ネットワークの設定を確認してください。

3

内容) データの受信に失敗しました。
対処) 通信環境を確認してください。

4

内容) 集信管理情報または詳細ホスト情報が未登録です。
対処) 集信管理情報に、指定したIDを登録してください。

5

内容) 管理情報の読み込みに失敗しました。
対処) 管理情報ファイルのアクセス権を確認してください。

6

内容) 集信管理情報の転送グループIDが未登録です。
対処) 集信管理情報に転送グループIDを登録するか、「-h」パラメータでホスト名を指定してください。

7

内容) メモリ不足が発生しました。
対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

10

内容) スレッドの作成に失敗しました。
対処) システムリソースが不足しています。不要なアプリケーションを終了させてください。

11

内容) ソケットの接続に失敗しました。
対処1) 相手ホストの要求受付が起動しているか確認してください。
対処2) リトライ回数、リトライ間隔を多めに設定してください。要求受付時は、システム動作環境設定ファイルのソケットリトライ回数を増やしてください。

12

内容) 通信エラーが発生しました。
対処) ネットワークの設定を確認してください。

13

内容) データの受信に失敗しました。
対処) 通信環境を確認してください。

14

内容) 要求先ホストから要求をキャンセルされました。
対処) 要求先ホストの要求受付履歴を参照し、対処を行ってください。

15

内容) 要求先のホストで異常が発生しました。
対処) 要求先ホストの要求受付履歴を参照し、対処を行ってください。

16

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

対処) 再度、要求を行ってください。

17

内容) 同期転送時にすべてのホストで転送異常となりました。

対処) すべてのホストにおいて、管理情報の設定を確認し、再度要求を行ってください。

18

内容) 同期転送時に一部のホストで転送異常となりました。

対処) 異常が発生したホストを調べ、対処を行った後、再度要求を行ってください。

19

内容) データの受信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

21

内容) プロキシサーバでエラーが発生しました。

対処) プロキシサーバのログを確認し、対処を行った後、再度要求を発行してください。

22

内容) 接続形態の指定に誤りがあります。

対処) 接続形態の指定を確認してください。

23

内容) システム情報の取得でエラーが発生しました。

24

内容) オプション情報の取得でエラーが発生しました。

25

内容) 同期転送時にすべての転送がキャンセルされました。

26

内容) 同期転送時に一部の転送がキャンセルされました。

27

内容) IPアドレスの取得に失敗しました。

対処) hostsファイルまたはDNSサーバへ登録してください。

28

内容) 要求先ホストの通信手順が不正です。

対処) 要求先ホストの通信手順を確認してください。

31

内容) 通信先ホストのHULFT間でバージョンエラーが発生しました。

対処1) HULFT Firewallには接続できません。

対処2) HULFT-HUB Server V2.2未満には接続できません。

2.3 集配信制御コマンド異常終了時の終了ステータス

2.3.1 配信状況表示コマンド(utldisp.exe)

1

内容) 該当データがありません。

10

内容) 接続エラーが発生しました。

対処1) 配信プロセスが起動しているか確認してください。

対処2) 配信受付ポート番号が正しいか確認してください。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.3.2 集信状況表示コマンド(utlrdisp.exe)

5

内容) 集信プロセスでメモリエラーが発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

14

内容1) バージョンエラーが発生しました。

対処1) 起動しているHULFTのバージョンを確認してください。

内容2) システムエラーが発生しました。

60

内容) 接続エラーが発生しました。

対処1) 集信プロセスが起動しているか確認してください。

対処2) 集信ポート番号が正しいか確認してください。

61

内容) データの受信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

62

内容) データの送信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

81

内容) 該当データがありません。

2.3.3 未配信状態キューの変更コマンド(utlschange.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

10

内容) 接続エラーが発生しました。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.3.4 配信キャンセルコマンド (utlscan.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

10

内容) 接続エラーが発生しました。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.3.5 集信キャンセルコマンド(utlrcan.exe)

1

内容) 該当データがありません。

99

内容) パラメータエラーが発生しました。

2.3.6 再配信待ちリスト削除コマンド(utlrsdrm.exe)

1

内容) 該当データがありません

3

内容) ファイルへのアクセスでエラーが発生しました。

対処) 再配信待ちファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

99

内容) パラメータエラーが発生しました。

2.4 要求受付コマンド異常終了時のステータス

2.4.1 ジョブ実行結果通知コマンド(hulsndrc.exe)

101

内容) パラメータ指定が不正です。

対処) 起動時のパラメータを確認してください。

102

内容) 環境変数の取得に失敗しました。

対処) 後続ジョブから起動してください。

103

内容) ソケットの接続に失敗しました。

対処1) 要求発行時、相手ホストの要求受付が起動しているか確認してください。

対処2) リトライ回数、リトライ間隔を多めに設定してください。

対処3) 要求発行時、システム動作環境設定ファイルのソケットリトライ回数を増やしてください。

104

内容) データの送信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

105

内容) データの受信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

106

内容) 通知先ホストが詳細ホスト情報に存在しません。

対処) 通知先ホストを詳細ホスト情報へ登録してください。

108

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

109

内容) データの受信に失敗しました。

対処) 通信環境を確認してください。

110

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 出力ファイルのアクセス権を確認してください。

111

内容) ホスト名の取得に失敗しました。

対処) TCP/IPの設定を確認してください。

112

内容) 要求先ホストから処理をキャンセルされました。

対処) 要求先ホストの要求受付履歴を確認してください。

113

内容) 要求先ホストでエラーが発生しました。

対処) 要求先ホストの要求受付履歴を確認してください。

115

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 余分なアプリケーションを停止してください。

116

内容) ファイルへのアクセスでエラーが発生しました。

117

内容) 何らかの理由によりプロセスが不安定になりました。

対処) 再度要求を行ってください。

118

内容) IPアドレスの取得に失敗しました。

対処) hostsファイルまたはDNSサーバに登録してください。

2.4.2 リモートジョブ実行コマンド(utlrjob.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 起動パラメータを確認してください。

2

内容) 詳細ホスト情報が存在しません。
対処) 指定したホスト名を詳細ホスト情報に登録してください。

3

内容) 詳細ホスト情報エラーが発生しました。
対処) 詳細ホスト情報が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

4

内容) 通信エラーが発生しました(ソケットエラー)。

5

内容) 通信エラーが発生しました(ソケット書き込みエラー)。

6

内容) 通信エラーが発生しました(ソケット読み込みエラー)。

7

内容) 通信エラーが発生しました(ソケット読み込みタイムアウトエラー)。

8

内容) IPアドレスの取得に失敗しました。
対処) hostsファイルまたはDNSサーバに登録してください。

9

内容) 要求受付プロセスへ接続に失敗しました。
対処) 要求受付プロセスが立ち上がっているか、または、IPアドレス、ポート番号が合っているか確認してください。

10

内容) メモリ不足です。
対処) 不要なプログラムを停止したのちに処理を再実行してください。

11

内容) ログファイルオープンに失敗しました。
対処) ディスクの空き容量またはアクセス権を確認してください。

12

内容) 要求受付プロセス側で異常が発生しました。
対処) 要求受付プロセスのエラーコードを確認してください。

99

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

2.4.3 リモートジョブ実行コマンド(hulrjob.exe)

81

内容) パラメータエラーまたは、ジョブ実行エラーが発生しました。

対処) 要求受付定義ファイルの起動パラメータを確認してください。実行したジョブの完了コードを参照してください。

82

内容) 通信エラーが発生しました(ソケットエラー)。

83

内容) 指定されたジョブIDが存在しません。

対処) 指定されたジョブIDがジョブ起動情報に存在するか、またはアクセス権を確認してください。

85

内容) 実行したジョブがタイムアウト時間を経過しても終了しませんでした。

86

内容) 要求受付定義ファイルで指定された履歴ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 指定された履歴ファイルのアクセス権を確認してください。

87

内容) 要求受付定義ファイルで指定された履歴ファイルの書き込みに失敗しました。

対処) 指定された履歴ファイルのアクセス権またはディスクの空き容量を確認してください。

88

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 余分なアプリケーションを停止してください。

99

内容) アプリケーションエラーが発生しました。

2.5 システム管理コマンド異常終了時のステータス

2.5.1 管理情報バッチ登録コマンド(utliupdt.exe)

75 QUIT.

内容) ユーザ指定により終了しました。

102 can't open.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

107 illegal arg.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

422 オプション情報の取得に失敗しました。

内容) オプション情報の取得に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.5.2 管理情報削除コマンド(utlirm.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

102 can't open.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.5.3 管理情報レコード削除コマンド(utlcomp.exe)

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

50 Can't lock file.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

54 Can't copy file.

内容) ファイルのコピーに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

97 File not found.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

99 File seek error.

内容) ファイルのアクセスに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

101 can't alloc.

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

102 can't open.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

103 can't open.

内容) ファイルのセキュリティエラーが発生しました。

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

111 System error.

内容) システムエラーが発生しました。

2.5.4 管理情報パラメータファイル生成コマンド(utligen.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

53

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

102

内容) ファイルが使用中です。

対処) 出力先のファイルを使用しているアプリケーションを終了してください。

107

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

2.5.5 フォーマット情報表示コマンド(utililist.exe)

35 Can't open fmt information.

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

52 Can't close file.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

2.5.6 管理情報関連表示コマンド(utlidlist.exe)

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

2.6 履歴制御コマンド異常終了時のステータス

2.6.1 集配信履歴リスト表示コマンド(utlhist.exe)

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

98 Illegal data.

内容) データの内容に誤りがあります。

対処) データの内容、指定パラメータを確認してください。

101 can't alloc.

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

102 can't open.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

106 illegal data.

内容) データの内容に誤りがあります。

対処) データの内容、指定パラメータを確認してください。

107 illegal arg.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

109 Not found file.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか確認してください。

110 File lock error.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.6.2 要求受付履歴リスト表示コマンド(utlobslist.exe)

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

103 can't open.

内容) ファイルのセキュリティエラーが発生しました。

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

107 illegal arg.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

109 Not found file.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか確認してください。

110 File lock error.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.6.3 集配信履歴削除コマンド(utillog.exe)

5 Memory error(System error).

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

14 System error.

内容) システムエラーが発生しました。

49 Can't write file.

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

101 can't alloc.

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

103 can't open.

内容) ファイルのセキュリティエラーが発生しました。

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

106 illegal data.

内容) データの内容に誤りがあります。

対処) データの内容、指定パラメータを確認してください。

107 illegal arg.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

108 quit.

内容) ユーザ指定により終了しました。

110 File lock error.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.6.4 要求受付履歴削除コマンド(utlobsrn.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

101 can't alloc.

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

102 can't open.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

109 Not found file.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか確認してください。

110 File lock error.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.6.5 転送情報集計コマンド(`utllogcnt.exe`)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

2

内容) CSVファイルが既に存在しています。
対処) 出力ファイルの扱いを指定してください。

3

内容) メモリの確保に失敗しました。
対処) 検索件数が多すぎる可能性があります。検索条件を指定してから再度実行してください。

4

内容) 履歴ファイルのロックに失敗しました。
対処) HULFTのデーモンおよびユーティリティで履歴ファイルを使用している可能性があります。しばらく経過したのちに再度実行してください。

5

内容) ディスクの空き容量が足りない為、検索結果が出力できません。
対処) ディスク領域を確保するか、検索条件を設定し直してから、再度実行してください。

6

内容) テンポラリファイルを作成するディスクの空き容量が足りません。
対処) HULPATH下に十分なディスク領域を確保するか、検索条件を設定し直してから、再度実行してください。

7

内容) 履歴ファイルをオープンすることが出来ません。
対処) 他のプロセスで履歴ファイルを使用していないかを確認してください。

8

内容) 標準出力用のハンドルを取得できません。

9

内容) テンポラリファイルの削除に失敗しました。

10

内容) シークに失敗しました。

11

内容) ファイルの書き込みに失敗しました。

12

内容) CSVファイルのオープンに失敗しました。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.7 操作ログ制御コマンド異常終了時のステータス

2.7.1 操作ログ手動切り替えコマンド(utloplchg.exe)

- 112 システム動作環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。
内容) システム動作環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 113 HULPATHが設定されていません。
内容) HULPATHが設定されていません。
対処) HULPATHの設定を確認してください。
- 114 oplフォルダの作成に失敗しました。
内容) oplフォルダの作成に失敗しました。
対処) HULPATHフォルダ以下が正常に使用できるか確認してください。
- 115 ファイルアクセスログファイルのロックに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログファイルのロックに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 116 コマンド実行ログファイルのロックに失敗しました。
内容) コマンド実行ログファイルのロックに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 117 ファイルアクセスログダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) ファイルアクセスログダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 118 ファイルアクセスログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 119 コマンド実行ログダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) コマンド実行ログダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 120 コマンド実行ログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 121 ファイルアクセスログファイルのオープンに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 122 ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 123 コマンド実行ログファイルのオープンに失敗しました。
内容) コマンド実行ログファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

- 124 コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 125 ファイルアクセスログファイルの書き込みに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 126 ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 127 コマンド実行ログファイルの書き込みに失敗しました。
内容) コマンド実行ログファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 128 コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 129 ファイルアクセスログファイルが存在しません。
内容) ファイルアクセスログファイルが存在しません。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 130 コマンド実行ログファイルが存在しません。
内容) コマンド実行ログファイルが存在しません。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 131 ファイルアクセスログファイルの切り替えに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログファイルの切り替えに失敗しました。
対処) ファイルシステム、OSの異常等が考えられます。環境を確認してください。
- 132 コマンド実行ログファイルの切り替えに失敗しました。
内容) コマンド実行ログファイルの切り替えに失敗しました。
対処) ファイルシステム、OSの異常等が考えられます。環境を確認してください。
- 133 ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 134 コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 135 ファイルアクセスログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 136 ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 137 コマンド実行ログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

- 138 コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 139 ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 140 ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 141 コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 142 コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 143 ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 144 ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 145 コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 146 コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 147 ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。
内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。
- 148 コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。
内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

2.7.2 ファイルアクセスログリスト表示コマンド(utlopIlist.exe)

- 81 対象データがありません。
内容)該当データが存在しません。
- 84 入力ファイルのオープンに失敗しました。
内容)ファイルのオープンに失敗しました。
対処)入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。
- 87 入力ファイルの読み込みに失敗しました。
内容)ファイルの読み込みに失敗しました。
対処)入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。
- 101 メモリのアロケートに失敗しました(System Error)。
内容)メモリ不足が発生しました。
対処)不要なアプリケーションを終了してください。
- 106 日付に誤りがあります。
内容)データの内容に誤りがあります。
対処)データの内容、指定パラメータを確認してください。
- 107 usage
内容)パラメータエラーが発生しました。
対処)入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。
- 109 ファイルが存在しません。
内容)指定されたファイルが存在しません。
対処)ファイルが存在するか確認してください。
- 110 ファイルのロックに失敗しました。
内容)ファイルのロックに失敗しました。
対処)ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 150 時刻に誤りがあります。
内容)データの内容に誤りがあります。
対処)データの内容、指定パラメータを確認してください。

2.8 サービスの登録・削除コマンド異常終了時のステータス

2.8.1 サービスの登録・削除コマンド(utlservice.exe)

9999

内容) 規定外のシグナルを受信しました。

上記以外

内容) OSの出力するエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

2.9 HULFTの起動・停止コマンド異常終了時のステータス

2.9.1 HULFTの起動・停止コマンド(`utlsvcctl.exe`)

3

内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 起動パラメータを確認してください。

4

内容) サービスが未登録です。
対処) HULFTサービスをOSに登録してください。

5

内容) サービスマネージャのオープンに失敗しました。

6

内容) サービスのオープンに失敗しました。

7

内容) ハンドルの取得に失敗しました。

8

内容) サービスステータスの取得に失敗しました。

9

内容) サービスは既に停止しています。

10

内容) サービスは既に開始しています。

11

内容) サービスの開始に失敗しました。

12

内容) サービスで内部エラーが発生しました。

13

内容) チェックポイントでエラーが発生しました。

14

内容) サービスの停止に失敗しました。

2.10 ユーティリティ異常終了時のステータス

2.10.1 複数ファイル結合コマンド(utljoin.exe)

5 Memory error(System error).

内容) メモリ不足です。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに処理を再実行してください。

10 Can't write file.

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

14 System error.

内容) システムエラーが発生しました。

35 Can't open fmt information.

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

36 Can't open sys information.

内容) システム動作環境設定ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

47 Can't open multiformat information.

内容) マルチフォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

50 Can't lock file.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

58 Over max count.

内容) 指定された値が最大値を超えました。

対処) 値を最大値以内に設定しなおしてください。

59 Can't get filesize.

内容) ファイルサイズの取得に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 起動パラメータを確認してください。

73 filename error.

内容) ファイル名が正しくありません。

対処) 命名規則に従った正しいファイル名を指定してください。

82 Data access error.

内容) データのアクセスでエラーが発生しました。

84 Can't open inputfile.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

85 Can't open outputfile.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 出力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

87 Can't read inputfile.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

88 Can't read outputfile.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 出力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

93 Can't write outputfile.

内容) ファイルの書き込みに失敗しました。

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

95 Path not found.

内容) パスの取得に失敗しました。

対処) 指定したパスが存在するか、またはアクセス権を取得してください。

96 Security error.

内容) セキュリティエラーが発生しました。

対処) アクセス権を確認してください。

97 File not found.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

99 File seek error.

内容) ファイルのアクセスに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.10.2 結合ファイル分解コマンド(utlbreak.exe)

14 System error.

内容) システムエラーが発生しました。

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

52 Can't close file.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

97 File not found.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

98 Illegal data.

内容) データの内容に誤りがあります。

対処) データの内容、指定パラメータを確認してください。

99 File seek error.

内容) ファイルのアクセスに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.10.3 結合ファイル表示コマンド(utldspfil.exe)

36 Can't open sys information.

内容) システム動作環境設定ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

50 Can't lock file.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

78 Illegal code type.

内容) 指定されたコードタイプが不正です。

79 Illegal filetype.

内容) 指定されたファイルタイプが不正です。

- 81 Nodata.
内容) 該当データが存在しません。
- 82 Data access error.
内容) データのアクセスでエラーが発生しました。
- 84 Can't open inputfile.
内容) ファイルのオープンに失敗しました。
対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。
- 87 Can't read inputfile.
内容) ファイルの読み込みに失敗しました。
対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。
- 90 Can't close inputfile.
内容) ファイルのクローズに失敗しました。
対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 95 Path not found.
内容) パスの取得に失敗しました。
対処) 指定したパスが存在するか、またはアクセス権を取得してください。
- 96 Security error.
内容) セキュリティエラーが発生しました。
対処) アクセス権を確認してください。
- 97 File not found.
内容) 指定されたファイルが存在しません。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。
- 98 Illegal data.
内容) データの内容に誤りがあります。
対処) データの内容、指定パラメータを確認してください。
- 99 File seek error.
内容) ファイルのアクセスに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.10.4 ファイルレコード編集コマンド(utlIf.exe)

5 Memory error(System error).

内容) メモリ不足です。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに処理を再実行してください。

10 Can't write file.

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 起動パラメータを確認してください。

83 Record size error.

内容) レコード長エラーが発生しました。

対処) 入力ファイルのレコード長が[-l]パラメータで指定したレコード長であるか確認してください。[-l]パラメータで指定したレコード長の次のバイト位置に「0x0d0a」が存在する必要があります。

84 Can't open inputfile.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

85 Can't open outputfile.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 出力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

2.10.5 複数集信ファイル編集コマンド(utlstore.exe)

5 Memory error(System error).

内容) メモリ不足が発生しました。

対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

14 System error.

内容) システムエラーが発生しました。

31 Can't open rcv information.

内容) 集信管理情報ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 集信管理情報ファイルが壊れていないか、管理画面で参照してください。

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

52 Can't close file.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

59 Can't get filesize.

内容) ファイルサイズの取得に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

82 Data access error.

内容) データのアクセスでエラーが発生しました。

83 Record size error.

内容) レコード長エラーが発生しました。

対処) 入力ファイルのレコード長を確認してください。

95 Path not found.

内容) パスの取得に失敗しました。

対処) 指定したパスが存在するか、またはアクセス権を取得してください。

96 Security error.

内容) セキュリティエラーが発生しました。

対処) アクセス権を確認してください。

97 File not found.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

104 can't delete.

内容) ファイルの削除に失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

2.10.6 アラート通知コマンド (utlalert.exe)

14

内容) システムエラーが発生しました。

対処) OSにMicrosoft TCP/IPがインストールされているかどうか確認してください。

45

内容) 再配信ファイルオープンに失敗しました。

対処) 再配信ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

60

内容) SIGNALert Managerへの接続に失敗しました。

対処) SIGNALert Managerが立ち上がっているか、またはIPアドレス、ポート番号が合っているか確認してください。

61

内容) 通信エラーが発生しました(ソケットリードエラー)。

62

内容) 通信エラーが発生しました(ソケットライトエラー)。

65

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 起動パラメータを確認してください。

76

内容) サーバ側で異常が発生しました。

対処) サーバ側のエラーコードを確認してください。

2.10.7 Unicode変換コマンド(utlchgunicode.exe)

52 Can't close file.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

82 Data access error.

内容) データのアクセスでエラーが発生しました。

84 Can't open inputfile.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはファイルのアクセス権を確認してください。

90 Can't close inputfile.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) 入力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

91 Can't close outputfile.

内容) ファイルのクローズに失敗しました。

対処) 出力ファイルに指定したファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

93 Can't write outputfile.

内容) ファイルの書き込みに失敗しました。

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

95 Path not found.

内容) パスの取得に失敗しました。

対処) 指定したパスが存在するか、またはアクセス権を取得してください。

96 Security error.

内容) セキュリティエラーが発生しました。

対処) アクセス権を確認してください。

97 File not found.

内容) 指定されたファイルが存在しません。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

100 Use default character when converting UNICODE character.

内容) UnicodeからSHIFT-JISへの変換でエラーが発生しましたので、デフォルトの文字を使用しました。

2.10.8 外字テーブル展開コマンド(utlgtfextdV.exe)

5 Memory error(System error).

内容) メモリ不足です。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに処理を再実行してください。

10 Can't write file.

内容) ファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

45 Can't open other file.

内容) ファイルのオープンに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

50 Can't lock file.

内容) ファイルのロックに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

53 Can't read file.

内容) ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

54 Can't copy file.

内容) ファイルのコピーに失敗しました。

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

65 Usage.

内容) パラメータエラーが発生しました。

対処) 入力したパラメータが正しいかどうか確認してください。

149 Incorrect input format.

内容) 入力形式に誤りがあります。

対処) デフォルトコード、入力コード、または出力コードは8桁以内で指定してください。

2.11 スケジューラコマンドの異常終了時のステータス

2.11.1 スケジュールキャンセルコマンド (schcancel.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 起動パラメータを確認してください。

10

内容) メモリ不足が発生しました。
対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

15

内容) ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

16

内容) ファイルが使用中のためオープンできません。

17

内容) ファイルが見つかりません。
対処) ファイルが存在するか確認してください。

18

内容) ファイルパスが不正です。
対処) 指定したファイルパスが有効か確認してください。

19

内容) ファイルに対してアクセス権がありません。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

25

内容) データの出力に失敗しました。

26

内容) ディスクの空き容量が不足しています。

27

内容) WindowsNT系OS以外では動作しません。

50

内容) 指定されたスケジュールIDが見つかりませんでした。
対処) スケジュールIDを確認してください。

51

内容) 接続に失敗しました。
対処) スケジュールプロセスが起動しているか確認してください。

52

内容) スケジューラでエラーが発生しました。

53

内容) 指定されたスケジュールはすでにキャンセルされています。

54

内容) 指定されたスケジュールはすでに終了しています。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.11.2 スケジュール履歴削除コマンド(schrmlog.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。
対処) 起動パラメータを確認してください。

10

内容) メモリ不足が発生しました。
対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

15

内容) ファイルのオープンに失敗しました。
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

16

内容) ファイルが使用中のためオープンできません。

17

内容) ファイルが見つかりません。
対処) ファイルが存在するか確認してください。

18

内容) ファイルパスが不正です。
対処) 指定したファイルパスが有効か確認してください。

19

内容) ファイルに対してアクセス権がありません。
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

25

内容) データの出力に失敗しました。

26

内容) ディスクの空き容量が不足しています。

27

内容) WindowsNT系OS以外では動作しません。

50

内容) 該当削除レコードがありません。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.11.3 スケジュール履歴リスト表示コマンド(schloglist.exe)

1

内容) パラメータエラーが発生しました。
 対処) 起動パラメータを確認してください。

10

内容) メモリ不足が発生しました。
 対処) 不要なアプリケーションを終了してください。

15

内容) ファイルのオープンに失敗しました。
 対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

16

内容) ファイルが使用中のためオープンできません。

17

内容) ファイルが見つかりません。
 対処) ファイルが存在するか確認してください。

18

内容) ファイルパスが不正です。
 対処) 指定したファイルパスが有効か確認してください。

19

内容) ファイルに対してアクセス権がありません。
 対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

25

内容) データの出力に失敗しました。

26

内容) ディスクの空き容量が不足しています。

27

内容) WindowsNT系OS以外では動作しません。

50

内容) 該当レコードがありません。

99

内容) システムエラーが発生しました。

2.12 クラスタシステムコマンド異常終了時のステータス

2.12.1 管理情報の二重化コマンド(utladmfileadjoin.exe)

81 Nodata.

内容) 該当データが存在しません。

82 Data access error.

内容) データのアクセスでエラーが発生しました。

..... め ~

第 3 章

メッセージ

プロセスが出力するメッセージについて説明します。

3.1 メッセージについて

HULFT本体はメッセージを、メッセージボックス・コンソール・イベントビューアに出力します。メッセージは以下の形式で統一されています。

<メッセージの形態>

XXXXXX	EEEEEE	NNNNNN.....NNNNNN
--------	--------	-------------------

XXXXXX : メッセージ番号

7桁より構成されており、各桁の意味は次のとおりです。

1桁目：メッセージレベル

- I : インフォメーション
- W : ワーニング
- E : エラー(軽度)
- X : エラー(重度)

2桁目：プログラム種別

- 0 : サービス
- 1 : 集信
- 2 : 要求受付
- 3 : 配信
- 8 : スケジューラ
- L : その他
- P : 操作ログ

3～4桁目：システム内部で使用

5～7桁目：詳細コード(プログラムごとのコード)

EEEEEE : 詳細エラーコード

メッセージレベルが「W」「E」「X」の時に出力される場合があります。

通常では、OSのエラーコードが出力されますが、以下の場合では別の意味を持ちます。

相手ホストでエラーが発生した場合

相手ホストでエラーが発生した場合は、相手ホストのエラーコードが出力されます。

子プロセスエラー(721)が発生した場合

集信処理、要求受付処理、スケジューラでエラーコード721(子プロセスエラー)が発生した場合、子プロセスのエラーコードが出力されます。

NNN・・・NNN : メッセージ内容

メッセージに含まれているパーセント記号(%)で始まる文字列は、Visual C++ .NET 2002のprintf関数の書式指定に従って変換され出力されます。

たとえば、以下の書式が使用されています。

%s	: 任意の文字列
%d,%ld	: 任意の数値
%x	: 任意の16進数表記

3.2 インフォメーション

このメッセージは通知情報です。

3.2.1 サービスのインフォメーション(I0xxxxx)

I002001

内容) コンソールサービスを開始します。

I002002

内容) コンソールサービスを終了します。

I002120

内容) シグナル(%s)を検出しました。

I003001

内容) %sを起動します(プロセスID=%d)。

I003002

内容) %sを終了します。

I003003

内容) %sを起動します(プロセスID=%x)。

I010210

内容) サービスを開始しました。

I010211

内容) サービスを停止しました。

I010212

内容) サービスを開始します。

I010213

内容) サービスを停止します。

3.2.2 集信のインフォメーション(I1xxxxx)

I103009

内容) 他のホストから接続されました。

I103201

内容) (ID=%s)を集信します(配信元ホスト名=%s)。

I105001

内容) %s(ID=%s)の集信が終了しました(配信元ホスト名=%s, 完了コード=%d)。

I105035

内容) CSVデータ変換処理を開始します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

I105036

内容) CSVデータ変換処理が終了しました(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d-%d)。

I105037

内容) XMLデータ変換処理を開始します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

I105038

内容) XMLデータ変換処理が終了しました(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d-%d)。

I105063

内容) ソケットバッファサイズはシステムで設定された値を採用します。(受信バッファサイズ=%d, 送信バッファサイズ=%d)

I105064

内容) ソケットバッファサイズはシステムで設定された値を採用します。(受信バッファサイズ=%d, 送信バッファサイズ=%d)

I105065

内容) ソケットバッファサイズはシステムで設定された値を採用します。(受信バッファサイズ=%d, 送信バッファサイズ=%d)

I108007

内容) %s(ID=%s)を集信します(配信元ホスト名=%s)。

I116004

内容) %s(ID=%s)の集信が終了しました(配信元ホスト名=%s, 完了コード=%d)。

I116006

内容) %s(ID=%s)の集信が終了しました(配信元ホスト名=%s, 完了コード=%d)。

I119001

内容) CSVデータ変換処理を開始します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

I119007

内容) CSVデータ変換処理が終了しました(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d)。

I121006

内容) ファイルID=%sの集信正常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行を開始します。

I121008

内容) ファイルID=%sの集信正常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行が終了しました(完了コード=%d)。

I121015

内容) ファイルID=%sの集信異常終了後ジョブ(%s, ID=%s) の実行を開始します。

I121016

内容) ファイルID=%sの集信異常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行が終了しました(完了コード=%d)。

I129003

内容) %s(ID=%s)を集信します(配信元ホスト名=%s)。

I133001

内容) メール連携処理を開始します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, メール連携ID=%s)。

I133006

内容) メール連携処理が終了しました(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, メール連携ID=%s, ステータス=%d)。

I135006

内容) 集信ファイルとデータセットのベリファイを開始します。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

I135007

内容) 集信ファイルとデータセットのベリファイが終了しました。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d)

I137001

内容) hulraid.dllが利用できないため、SAN(FAL)転送が行えません。(詳細コード=%d)
対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I137002

内容) falnth.dllが利用できないため、SAN(FAL)転送が行えません。(詳細コード=%d)
対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I138001

内容) hulfsan.dllが利用できないため、SAN(XLD)転送が行えません。(詳細コード=%d)
対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I138002

内容) kjuapi.dllが利用できないため、SAN(XLD)転送が行えません。(詳細コード=%d)
対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

3.2.3 要求受付のインフォメーション(I2xxxxx)

I203035

内容) Manager接続を受け付けているため、終了処理待ち状態に入ります。

I204019

内容) サービス要求を受付しました(要求元ホスト名=%s, サービス名=%s)。

I206003

内容) 配信要求プログラム(utlsend)を起動しました。

I211001

内容) 要求受付履歴ファイルを切り替えました。

I211002

内容) 要求受付履歴ファイルを切り替えました。

I237000

内容) %sの管理画面との接続を終了しました。

I240001

内容) サービスの実行が終了しました(要求元ホスト名=%s, サービス名=%s)。

I240002

内容) サービスが異常終了しました(要求元ホスト名=%s, サービス名=%s, エラーコード=%d)。

3.2.4 配信のインフォメーション (I3xxxxx)

I303003

内容) 配信要求プログラム(utlsend)から要求を受け付けました(ホスト名=%s, ファイルID=%s, スレッドID=%lu)。

I303005

内容) 配信要求プログラム(utlsend)から要求を受け付けました(ホスト名=%s, ファイルID=%s, スレッドID=%lu)。

I303006

内容) 配信要求プログラム(utlsend)から要求を受け付けました(ホスト名=%s, ファイルID=%s, スレッドID=%lu)。

I303009

内容) 配信要求プログラム(utlsend)から要求を受け付けました(ホスト名=%s, ファイルID=%s, スレッドID=%lu)。

I311002

内容) 前回分の未配信件数%d件を配信します。

I320008

内容) hulraid.dllが利用できないため、SAN(FAL)転送が行えません。(詳細コード=%d)
 対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
 WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I320009

内容) falmth.dllが利用できないため、SAN(FAL)転送が行えません。(詳細コード=%d)
 対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
 WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I321002

内容) hulfsan.dllが利用できないため、SAN(XLD)転送が行えません。(詳細コード=%d)
 対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
 WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I321003

内容) kjuapi.dllが利用できないため、SAN(XLD)転送が行えません。(詳細コード=%d)
 対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
 WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

I330002

内容) %s(ID=%s)を再配信します(配信先:%s, 受け付けたスレッドID=%lu)。

I331060

内容) ソケットバッファサイズはシステムで設定された値を採用します。(受信バッファサイズ=%d, 送信バッファサイズ=%d)

I336001

内容) %s(ID=%s)の%sが終了しました(配信先:%s, 完了コード=%d)。

I337001

内容) 配信正常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行を開始します。

I337002

内容) 配信正常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行が終了しました(完了コード=%d)。

I337007

内容) 配信異常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行を開始します。

I337008

内容) 配信異常終了後ジョブ(%s, ID=%s)の実行が終了しました(完了コード=%d)。

I350001

内容) メール連携処理を開始します(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, メール連携ID=%s)。

I350002

内容) メール連携処理が終了しました(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, メール連携ID=%s, ステータス=%d)。

I354007

内容) 配信ファイルとデータセットのベリファイを行います。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s)

I354008

内容) 配信ファイルとデータセットのベリファイが終了しました。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d)

I359005

内容) ソケットバッファサイズはシステムで設定された値を採用します。(受信バッファサイズ=%d, 送信バッファサイズ=%d)

3.2.5 スケジューラのインフォメーション (I8xxxxx)

I803001

内容) スケジューリングを行います。

I806002

内容) スケジュールID=%sを実行します。

I806004

内容) スケジュールID=%sの実行が終了しました。

I808012

内容) スケジュール履歴ファイルを切り替えました。

3.3 ワーニング

このメッセージは警告メッセージです。

3.3.1 サービスのワーニング (W0xxxxx)

W001102

内容) hulenv.cnfにテンポラリファイルの記述が無いためカレントに作成します。

対処) テンポラリファイルの作成場所を設定する場合は、システム動作環境設定ファイルの設定を行ってください。

W001103

内容) HULPATHが設定されていません。カレントディレクトリをサーチします。

対処) hulft.iniファイルにHULPATHを設定してください。

W001104

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。既定値(=%s)を使用します。

W001105

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。既定値(=%s)を使用します。

W001140

内容) 各種ファイルが破壊される可能性があります。停止不可能時のみ使用してください。

対処) 停止後の再起動でロックエラーが発生する場合、ロック解除ユーティリティを使用してください。

W001201

内容) コンソールは既に起動されています。

W001202

内容) %sは既に起動されています。

W010210

内容) シャットダウンを検知しました。

W010220

内容) シャットダウンを検知しました。

W010300

内容) 次の配信が配信待ちのまま再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再度配信要求をしてください。

W010301

内容) 次の配信が配信処理中のまま再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再度配信要求をしてください。

W010302

内容) 次の配信が配信ファイルをクリア中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は完了しています。配信ファイルがクリアされているか確認してください。また、後続ジョブ・メール連携指定されていても、ジョブ起動・メール連携はされていません。

W010304

内容) 次の配信が配信正常終了後に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は完了していますが、後続ジョブ・またはメール連携指定されている場合に、このメッセージが出力されます。この場合、後続ジョブ・メール連携はされていません。

W010305

内容) 次の配信が配信異常終了後に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は異常終了していますが、後続ジョブ・またはメール連携指定されている場合に、このメッセージが出力されます。この場合、後続ジョブ起動・メール連携はされていません。

W010307

内容) 次の配信で正常時ジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は完了していますが、後続ジョブを起動している間にフェールオーバーしました。後続ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

W010310

内容) 次の配信で異常時ジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は完了していますが、後続ジョブを起動している間にフェールオーバーしました。後続ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

W010312

内容) 次の配信でメール連携中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの配信は完了していますが、実際にメール連携されているかどうか確認してください。

W010331

内容) 次の集信が集信処理中のまま再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再送要求または送信要求してください。

W010332

内容) 次の集信が世代管理処理中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再送要求または送信要求してください。

W010333

内容) 次の集信が追加集信中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再送要求または送信要求してください。

W010334

内容) 次の集信が集信正常終了後に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了していますが、後続ジョブ・またはメール連携指定されている場合に、このメッセージが出力されます。この場合、後続ジョブ・メール連携はされていません。

W010335

内容) 次の集信が集信異常終了後に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は異常終了していますが、後続ジョブ・またはメール連携指定されている場合にこのメッセージが出力されます。この場合、後続ジョブ起動・メール連携はされていません。

W010336

内容) 次の集信がDB連携処理中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了しています。データベース連携が正常に完了しているか確認してください。

W010338

内容) 次の集信がCSV変換処理中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了しています。CSV連携が正常に完了しているか確認してください。

W010341

内容) 次の集信で正常時ジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了していますが、後続ジョブを起動している間にフェールオーバーしました。後続ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

W010344

内容) 次の集信で異常時ジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了していますが、後続ジョブを起動している間にフェールオーバーしました。後続ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

W010346

内容) 次の集信でメール連携中に再起動しました。ファイルID=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) ファイルの集信は完了していますが、実際にメール連携されているかどうか確認してください。

W010361

内容) 次の要求受付処理で処理中に再起動しました。サービス名=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) 再度要求発行元で要求発行してください。

W010363

内容) 次の要求受付処理でジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。サービス名=%s、ホスト名=%s、受付日時=%s

対処) リモートホストのジョブ実行受付中にフェールオーバーしました。ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

W010371

内容) 次のスケジュールでジョブ起動待ち状態で再起動しました。現在の時刻は%sです。スケジュールID=%s、ジョブ起動日時=%s、ジョブ起動時刻をすぎたスケジュールはスケジューリングされません。

対処) 管理画面で今日のスケジュールを確認後、スケジューリングされていない場合はジョブを手動で起動してください。

W010372

内容) 次のスケジュールでジョブ実行処理中に再起動しました。スケジュールID=%s、ジョブ起動日時=%s

対処) スケジューリングされているジョブが実行中にフェールオーバーしました。ジョブがどこまで処理しているか確認してください。

W010381

内容) 次のutlsendで配信処理中に再起動しました。ファイルID=%s、受付時間=%s

対処) 再度配信要求をしてください。

W010383

内容) 次のutlsendで配信前ジョブ起動中(ジョブ%d番目を起動中)に再起動しました。ファイルID=%s、受付日時=%s

対処) ジョブを起動している間にフェールオーバーしました。後続ジョブの処理がどこまで完了か調べて、残りのジョブを手動で起動してください。

3.3.2 集信のワーニング(W1xxxxx)

W102017

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。既定値(=%s)を使用します。

W102018

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。既定値(=%s)を使用します。

W105011

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105012

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105013

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105016

内容) DB連携は未対応です(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, DBID=%s)。
対処) 配信元ホストの配信管理情報からデータベースIDを削除してください。

W105022

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105034

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105043

内容) 電文受信に失敗しました(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105044

内容) キャンセル要求を受け付けたため集信処理を中断します(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

W105063

内容) 配信側からのソケットクローズ待ちに失敗しましたが、処理を続行します。
対処) ネットワークが断線した可能性があります。ネットワークの環境を確認してください。

W121023

内容) (ID=%s)の集信後ジョブ(%s, ID=%s)起動時にアカウント情報の追加に失敗しましたが、処理を続行します(エラーコード=%d)。
対処) システム動作環境設定のアカウント設定に登録されているユーザ情報をジョブへ追加できませんでした。集信システムを起動しているユーザの権限が不足している場合など、このエラーが発生します。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

W134006

内容) 配信元ホストが汎用機ではないため、RAID連携ができません。LAN転送に切り替えます。
(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

W134007

内容) 共有ボリュームが参照できません。LAN転送に切り替えます。(ボリューム通番=%s, テーケット名=%s, 配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d)

W134010

内容) キャンセル要求を受付けたため集信処理を中断します。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

W134013

内容) RAID連携ドライバが使用できません。LAN転送に切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, エラーコード=%d)

対処) 環境を確認してください。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

W134014

内容) 配信側ホストはSAN連携が行えない機種です。LAN転送に切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

対処) 詳細ホスト情報の設定を見直してください。

W139001

内容) 共有ボリュームのオープンに失敗しました。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

対処) 共有ボリュームがオープンできないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、ステータス(エラーコード, 詳細コード)に表示されているエラーコードの下2桁から、XLデータムーバ利用手引書を参照してください。

W139003

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

対処) SAN連携用のメモリが確保できないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

W139005

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

対処) SAN連携用のメモリが確保できないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

W139007

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

対処) SAN連携用のメモリが確保できないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

W139009

内容) キャンセル要求を受付けたため集信処理を中断します。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

W139011

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

対処) SAN連携用のメモリが確保できないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

W139014

内容) 共有ボリューム情報が不正です。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

W139019

内容) キャンセル要求を受付けたため集信処理を中断します。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

W139020

内容) 共有ボリュームのオープンに失敗しました。LAN転送へ切り替えます。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, ステータス=%d,%d)

W139029

内容) SAN連携ドライバが使用できません。LAN転送に切り替えます(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, エラーコード=%d)。

対処) 環境を確認してください。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

3.3.3 要求受付のワーニング(W2xxxxx)

W203001

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。既定値(=%s)を使用します。

W203002

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。既定値(=%s)を使用します。

3.3.4 配信のワーニング(W3xxxxx)

W301002

内容) (%d)転送グループ情報ファイルのオープンに失敗しました。

W301003

内容) ファイルID=(%s)の指定された転送グループID=(%s)は転送グループ情報に登録されていません。

対処) 配信管理情報あるいは転送グループ情報の設定に誤りがないか確認してください。

W301004

内容) ファイルID=(%s)の配信先ホスト名=(%s)は転送グループID=(%s)に登録されていません。

対処) 他のホストから誤った要求が発行されたか、あるいは自システム内の転送グループ情報に誤りがあります。

W301007

内容) 転送グループ情報ファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W301008

内容) (%d)転送グループ情報が存在しません。

対処) 転送グループ情報を登録してください。

W302028

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。既定値(=%s)を使用します。

W302029

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。既定値(=%s)を使用します。

W303007

内容) 不正なプロトコルで接続されました。

対処) 起動したアプリケーションのポート番号を確認してください。

W303008

内容) 不正なプロトコルで接続されました。

対処) 起動したアプリケーションのポート番号を確認してください。

W304001

内容) 再配信待ちファイルが存在しません。

対処) 再配信要求時に指定したパラメータに誤りがないか確認してください。

W304005

内容) 指定したホスト名(%s)、ファイルID(%s)は再配信待ちに存在しません。

対処) 再配信要求時に指定したパラメータに誤りがないか確認してください。

W304012

内容) 再配信待ちファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W304014

内容) 指定されたホスト名(%s)は詳細ホスト情報ファイルに未登録です。

対処) 配信先ホストを詳細ホスト情報に登録してください。

W304015

内容) 詳細ホスト情報ファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W304016

内容) 詳細ホスト情報ファイルが存在しません。

対処) 詳細ホスト情報ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、詳細ホスト情報を登録してください。

W304020

内容) 指定したホスト名(%s), ファイルID(%s), ファイル名(%s) は再配信待ちに存在しません。

対処) 再配信要求時に指定したパラメータに誤りがないか確認してください。

W305003

内容) (%d)配信管理情報ファイルの読み込みに失敗しました。

W305004

内容) 指定したファイルID(%s)は配信管理情報ファイルに未登録です。

対処) 配信要求時に指定したパラメータに誤りがないか確認してください。

W305006

内容) 配信管理情報ファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W305007

内容) (%d)配信管理情報ファイルが存在しません。

対処) 配信管理情報ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、配信管理情報を登録してください。

W305010

内容) 指定したファイルID(%s)は同報配信のため配信ファイルクリア指定できません(送信要求時)。

対処) 同報配信または、配信ファイルクリアのどちらか1つを指定してください。

W305011

内容) ファイルID=(%s)の指定された転送グループID=(%s)は転送グループ情報に登録されていません。

対処) 配信管理情報あるいは転送グループ情報の設定に誤りがないか確認してください。

W305012

内容) 転送グループ情報ファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W305013

内容) 転送グループ情報ファイルがありません。

対処) 転送グループ情報ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、転送グループ情報を登録してください。

W305014

内容) 転送グループ情報ファイルがオープンできません。

W305015

内容) ファイルID=(%s)の配信先ホスト名=(%s)は転送グループID=(%s)に登録されていません。

対処) 転送グループIDに配信先ホストを登録してください。

W305016

内容) 指定されたホスト名(%s)は詳細ホスト情報ファイルに未登録です。

対処) 指定ホストを、詳細ホスト情報に登録してください。

W305017

内容) 詳細ホスト情報ファイルにセキュリティがありません。

対処) アクセス権を確認してください。

W305018

内容) 詳細ホスト情報ファイルがありません。

対処) 詳細ホスト情報ファイルの存在を確認してください。存在しない場合は、詳細ホスト情報を登録してください。

W305019

内容) 詳細ホスト情報ファイルがオープンできません。

W305020

内容) 指定したファイルID(%s)は同報配信のため配信ファイルの扱いでクリア、ロック、削除を指定できません(配信要求時)。

対処) 同報配信の場合は、配信ファイルの扱いで保存を指定してください。

W305021

内容) 指定したファイルID(%s)は同報配信のため配信ファイルの扱いでクリア、ロック、削除を指定できません(送信要求時)。

対処) 同報配信の場合は、配信ファイルの扱いで保存を指定してください。

W313003

内容) (%d)ステータス返却に失敗しました。

対処) タイムアウトした可能性があります。ソケットリードタイムアウトの時間を増やしてください。

W313004

内容) (%d)ステータス返却に失敗しました。

対処) タイムアウトした可能性があります。ソケットリードタイムアウトの時間を増やしてください。

W313005

内容) (%d)ステータス返却に失敗しました。

対処) タイムアウトした可能性があります。ソケットリードタイムアウトの時間を増やしてください。

W313006

内容) (%d)ステータス返却に失敗しました。

対処) タイムアウトした可能性があります。ソケットリードタイムアウトの時間を増やしてください。

W330011

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W330012

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W330013

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W330014

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W330015

内容) 配信データサイズエラー。

W330016

内容) 配信件数エラー。

W330029

内容) 集信側ホストのバージョンはSAN転送が行えるバージョンではありません。LAN転送に切り替えます。

対処) 集信側ホストのバージョンを確認し、詳細ホスト情報の接続形態の設定を見直してください。

W330031

内容) 接続形態がSAN(XLD)となっていますが、集信側ホストは対応するSAN連携オプションが導入されていません。LAN転送に切り替えます。

対処) 集信側ホストに対応するSANオプションが導入されていません。詳細ホスト情報の接続形態の設定を見直してください。

W330033

内容) 接続形態がSAN(FAL)となっていますが、集信側ホストは対応するSAN連携オプションが導入されていません。LAN転送に切り替えます。

対処) 集信側ホストに対応するSANオプションが導入されていません。詳細ホスト情報の接続形態の設定を見直してください。

W330034

内容) 速度優先モードを使用できません。

電文転送タイプは異常検知優先モードへ変更されます。集信側のバージョン、電文転送タイプを確認してください。

対処) 集信側のバージョン、電文転送タイプを確認してください。

W334028

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W336008

内容) キャンセル要求を受け付けたため自動再配信開始処理は行いません。

W336014

内容) 集信側からのソケットクローズ待ちに失敗しましたが、処理を続行します。

対処) ネットワークが断線した可能性があります。ネットワークの環境を確認してください。

W337013

内容) (ID=%s)の配信後ジョブ(%s, ID=%s)起動時にアカウント情報の追加に失敗しましたが、処理を続行します(エラーコード=%d)。

対処) システム動作環境設定のアカウント設定に登録されているユーザ情報をジョブへ追加できませんでした。印刷を行うプログラム、Microsoft社のMFCを利用したアプリケーションが起動に失敗する可能性があります。このワーニングを解除するためには、アカウント設定で登録したユーザに権限を追加する必要があります。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

W344002

内容) キャンセル要求を受け付けたため配信処理を中断します。

W351007

内容) 詳細情報にPROXYサーバが設定されています。LAN転送に切り替えます。(配信ホスト先=%s, ファイルID=%s)

W351009

内容) コード変換指定が不正です。LAN転送に切り替えます。(配信ホスト先=%s, ファイルID=%s)

W351011

内容) 共有ボリュームが参照できません。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト名=%s、ファイルID=%s、データセット名=%s、ボリューム通番=%s)

W351016

内容) RAID連携ドライバが使用できません。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト=%s、ファイルID=%s、エラーコード=%d)

対処) RAID連携ドライバが使用できない状態にあります。エラーコードの内容を参照し対処を行ってください。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

W353006

内容) 相手ホスト種が不正です。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト=%s、ファイルID=%s)

W353007

内容) ボリューム通番が指定されていません。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト=%s、ファイルID=%s)

W353009

内容) 配信先ホスト側の設定によりSAN転送が行えません。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)

対処) 配信先ホストの設定を見直してください。

W353010

内容) 配信先ホストはSAN転送が行えない機種です。LAN転送に切り替えます。(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)

対処) 詳細ホスト情報の設定を見直してください。

W354001

内容) 配信処理がキャンセルされました。

W356009

内容) 配信処理がキャンセルされました。

W357002

内容) 共有ボリュームがオープンできません。LAN転送へ切り替えます。

対処) 共有ボリュームのオープンができないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、ステータス(エラーコード, 詳細コード)に表示されているエラーコードの下2桁から、XLデータムーバ利用手引書を参照してください。

W357003

内容) 配信先ホストでSAN転送が出来ません。LAN転送へ切り替えます。

対処) 配信先ホストでSAN転送の条件が満たされていません。配信先ホストで対処を行ってください。

W357008

内容) キャンセル要求を受付けたため配信を中断します。

W357009

内容) キャンセル要求を受付けたため配信を中断します。

W357013

内容) キャンセル要求を受付けたため配信を中断します。

W357018

内容) メモリ不足のためSAN転送できません。LAN転送へ切り替えます。

対処) SAN連携用のメモリが確保できないため、LAN転送に切り替えました。SANでの転送を行う場合は、不要なプログラムを停止し、再度配信処理を実行してください。

W357020

内容) SAN連携ドライバが使用できません。LAN転送に切り替えます。(配信ホスト先=%s, ファイルID=%s, エラーコード=%d)

対処) SAN連携ドライバが使用できない状態にあります。エラーコードの内容を参照し対処を行ってください。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

3.3.5 スケジューラのワーニング (W8xxxxx)

W801020

内容) 環境設定ファイルの設定値が不正です(休日とする曜日)。

対処) 1~7を指定してください。

W801022

内容) 環境設定ファイルの設定値が不正です(祝日の扱い)。

対処) 0または1を指定してください。

W801024

内容) 環境設定ファイルの設定値が不正です(スケジューリング時間)。

対処) 0~23を指定してください。

W801031

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。既定値(=%s)を使用します。

W801032

内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。既定値(=%s)を使用します。

W806005

内容) スケジュールID=%sの処理がキャンセルされました。

W806040

内容) 起動ジョブ数を超えているためスケジュールID=%sの実行がキャンセルされました。

W806041

内容) スケジュールID=%sのユーザ情報追加に失敗しましたが処理を続行します(エラーコード=%d)。

対処) スケジュール情報のユーザ情報に登録されているユーザアカウントをジョブへ追加できませんでした。印刷を行うプログラム、Microsoft社のMFCを利用したアプリケーションが起動に失敗する可能性があります。このワーニングを解除するためには、スケジュール情報で登録したユーザに権限を追加する必要があります。表示されるエラーコードはOSの返すエラーコードです。WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

3.3.6 その他のワーニング (WLxxxxx)

WL01001

内容) ビットマップファイルがオープンできません。

対処) 起動ディレクトリにビットマップファイルが存在するか確認してください。

WL01002

内容) システムファイルがオープンできません。

対処) システムファイルが存在するか確認してください。

WL01003

内容) 動作環境ファイルがオープンできません。

対処) システム動作環境設定ファイルが存在するか確認してください。

WL01004

内容) メモリアロケートができません。

対処1) メモリ容量を確認してください。

対処2) 他のアプリケーションが起動していたら終了させてください。

3.4 エラー(軽度)

3.4.1 集信のエラー (E1xxxxx)

E105002

内容) 集信処理で集信テンポラリファイルの削除に失敗しました。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E105003

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E105004

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E105005

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E105008

内容) 集信処理で集信ファイルサイズの取得に失敗しました。

E105009

内容) 集信ファイルサイズが0バイトのため、CSV変換に失敗しました。

対処) 配信元の配信ファイルのサイズを確認してください。

E105010

内容) 集信ファイルサイズが0バイトのため、DB連携に失敗しました。

対処) 配信元の配信ファイルのサイズを確認してください。

E105014

内容) 世代管理有りでのデータベース連携は出来ません。

対処) 世代管理を行うか、データベース連携を行うか、どちらか選択してください。

E105015

内容) 集信処理で初期化に失敗しました。

E105016

内容) DB連携は未対応です(配信元ホスト名=%S, ファイルID=%S, DBID=%S)。

対処) 配信元の配信管理情報に設定されているデータベースIDを削除してください。

E105017

内容) DB連携は未対応です(配信元ホスト名=%S, ファイルID=%S, DBID=%S)。

対処) 配信元の配信管理情報に設定されているデータベースIDを削除してください。

E105018

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105019

内容) 集信多重度を越えました。

E105020

内容) ユーザコードテーブルの定義がありません。

対処) 当該集信ファイルIDのEBCDICコードセットに対応するユーザコードテーブルを管理画面のツールメニューから登録してください。

E105021

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105024

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E105025

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105026

内容) 集信データサイズエラー。

対処) 配信側のデータサイズと一致しませんでした。HULFTの設定、通信環境の確認をしてください。暗号出口ルーチンを使用している場合、暗号キーが正しく設定されているか確認してください。

E105027

内容) 集信件数エラー。

対処) 配信側のデータ件数と一致しませんでした。HULFTの設定、通信環境の確認をしてください。暗号出口ルーチンを使用している場合、暗号キーが正しく設定されているか確認してください。

E105028

内容) 集信管理情報に転送グループIDが指定されていません。

対処) 転送グループチェック機能を使用している場合は、集信管理情報に転送を許可する転送グループIDを指定してください。

E105029

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105030

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105031

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E105033

内容) (%d) イベントの作成に失敗しました。

対処) 詳細エラーコードを参照し、対処してください。

E105039

内容) DB連携機能はサポートしていません。

対処) 配信側配信管理情報の連携DBIDを確認してください。

E105040

内容) 暗号出口ルーチン終了処理に失敗しました。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再度集信してください。

E105041

内容) ユーザ出口ルーチンの初期化に失敗しました。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再度集信してください。

E105042

内容) 集信ファイルサイズが0バイトのため、XML連携に失敗しました。

対処) 集信データサイズを確認してください。

E105045

内容) XML連携はサポートしていません(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s, DBID=%s)。

対処) 配信側配信管理情報の連携DBIDを確認してください。

E105046

内容) 集信処理でデータの圧縮解凍初期化に失敗しました。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再度集信してください。

E105055

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) 不正な電文を受け取りました。システム管理者に連絡してください。

E105056

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105057

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105061

内容) 集信処理で暗号化に失敗しました。

E105062

内容) Hello電文の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E105066

内容) 集信処理でデータ検証エラーが発生しました。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

対処) 配信側ホストがデータ検証に未対応のバージョン、もしくは集信管理情報で指定したデータ検証方式に未対応です。配信側ホストのバージョンと集信管理情報のデータ検証の設定を見直してください。

E105067

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E106001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E106002

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E106003

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E106004

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E106005

内容) 集信処理の通信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E106006

内容) 配信元ホストで異常が発生しました(エラーコード=%d)(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

対処) 配信側で発生したエラーの対処を行い、再度集信してください。

E106007

内容) 集信へ不正なプロトコルで接続されました。

E106009

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107002

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107003

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107004

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107005

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107006

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107007

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107008

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E107009

内容) 集信処理で配信元ホストのホスト名を取得出来ませんでした。

対処) hostsファイルに相手ホストが登録されているか確認してください。登録されている場合は、最後に改行が入っているか確認してください。

E107010

内容) 配信元がバージョン3以前のため、フォーマット転送はできません。

対処) 配信元のMainframeまたは、UNIXのHULFTをバージョンアップしてください。

E107011

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)へのパスが見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E107012

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)が見つかりません。

対処) 詳細ホスト情報が登録されているか確認してください。

E107013

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)に対してのアクセス権がありません。

対処) アクセス権を設定してください。

E107014

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)は、他の集配信プロセスで使用中です。

対処) 集信処理を再実行してください。

E107015

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)に配信元ホストが登録されていません。

対処) 詳細ホスト情報を確認してください。

E107016

内容) 集信処理の配信ファイル情報取得処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E107017

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)の読み込みに失敗しました。

E107018

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)の読み込みに失敗しました。

E107019

内容) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)の読み込み処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E107023

内容) (%d)集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E107024

内容) 集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E107025

内容) 集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E107026

内容) 集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E107027

内容) 集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E107028

内容) 集信処理でメモリの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E108001

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)へのパスが見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E108002

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)が見つかりません。

対処) 集信管理情報が登録されているか確認してください。

E108003

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)に対してのアクセス権がユーザにはありません。

対処) アクセス権を設定してください。

E108004

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)は、他の集配信プロセスで使用中です。

対処) 集信処理を再実行してください。

E108005

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)に指定されたファイルIDが登録されていません。

対処) 集信管理情報を確認してください。

E108006

内容) 集信ファイル情報取得処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E108008

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)の読み込みに失敗しました。

E108009

内容) 集信管理ファイル(hulrcvdb)の読み込みに失敗しました。

E108010

内容) 集信管理情報で集信形態「複数集信」と異常時の処置「削除」は同時に選択出来ません。

対処) 集信管理情報の設定を変更してください。

E109001

内容) 集信処理でディスクスペース情報の取得に失敗しました。

E109002

内容) 集信ファイルに対して、ディスクスペースが不足しています。

対処) 不要なファイルを消して、空き容量を増加してください。

E109003

内容) 集信テンポラリファイルの作成パスが見つかりません。

対処) システム動作環境設定ファイルのワークファイル作成パスの定義を確認してください。

E109004

内容) 集信テンポラリファイルの作成ディレクトリに対してアクセス権がありません。

対処) システム動作環境設定ファイルのワークファイル作成パスの定義で指定したディレクトリに対するアクセス権を確認してください。

E109005

内容) 集信テンポラリファイルを作成しようとしたますが、同一名のファイルが既に存在しています。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E109006

内容) 集信テンポラリファイルの作成に失敗しました。

対処) 再度集信処理を実行してください。

E109007

内容) 集信ファイルオープン処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E109008

内容) 集信テンポラリファイルのシークに失敗しました。

E109009

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109010

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109011

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E109012

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109013

内容) ストアファイルのオープンに失敗しました。

E109014

内容) ストアファイルへの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E109015

内容) 集信ファイルのクローズ処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E109016

内容) 集信テンポラリファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E109017

内容) 集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E109018

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109020

内容) 集信ファイルの登録モードに誤りがあります。

対処) 集信管理情報の登録モードを確認してください。

E109021

内容) 集信ファイルがロック出来ませんでした。他の処理で使用中です。

対処) しばらく時間をおいてから、再度要求を発行してください。

E109022

内容) 集信ファイルへのパスが見つかりません。

対処) 集信管理情報の集信先ファイル名(パス)を確認してください。

E109023

内容) 集信ファイルに対してのアクセス権がありません。

対処) 集信管理情報の集信先ディレクトリにアクセス権を設定してください。

E109024

内容) 集信ファイルの登録モードが"新規"ですが、既にそのファイルは存在しています。

対処) 集信管理情報の登録モードの内容を修正してください。

E109025

内容) 集信ファイルのオープンに失敗しました。

E109026

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109027

内容) 集信ファイル格納ドライブの指定に誤りがあります。

対処) 集信管理情報を確認してください。

E109028

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109029

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109030

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109031

内容) 集信ファイルのロックの解除に失敗しました。

E109032

内容) 集信ファイルへのオープンに失敗しました。

E109033

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E109034

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E109035

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

E109036

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E109038

内容) ストアファイルのシークに失敗しました。

E109039

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E109040

内容) 集信ファイルサイズの取得に失敗しました。

E109041

内容) 集信ファイルが使用中のためオープンできません。

対処) 集信ファイルが開放されるまで待ってから、再度集信を行ってください。

E109042

内容) 集信ファイルのロックができませんでした。

E109043

内容) 集信ファイルのロックができませんでした。

E109044

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を実行してください。

E110001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E110002

内容) 集信通信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E110003

内容) 通信用バッファがオーバーフローしました。

E110004

内容) 暗号キーの暗号化に失敗しました(エラーコード=%#.8x, 理由コード=%lu)。

対処) opensslの理由コードを参照しエラーの対処を行い、再度集信してください。

E111001

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111002

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E111003

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111004

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111005

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111006

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E111007

内容) 集信処理のデータ電文長が不正です。

E111008

内容) 集信処理のデータ電文長が不正です。

E111009

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111010

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111011

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111012

内容) 集信処理でデータの圧縮解凍に失敗しました。

E111013

内容) 集信処理でデータの圧縮解凍に失敗しました。

E111014

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E111015

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E111016

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E111017

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E111018

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E111019

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E111020

内容) 集信処理で暗号の解読に失敗しました。

E111021

内容) 集信処理で暗号の解読に失敗しました。

E111022

内容) 集信処理で暗号の解読に失敗しました。

E111023

内容) マルチフォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E111024

内容) フォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとフォーマット情報が合っているか確認してください。

E111025

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました(文字コード=[%s])。

E111026

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました(文字コード=[%s])。

E111032

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E111038

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) 詳細コードを参照し、対処を行ってください。

E111039

内容) 集信処理でデータ検証エラーが発生しました。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

対処) この転送データは通信中にデータの異常や欠落が生じた可能性があります。ネットワークの状態を確認し、再度実行してください。

E111040

内容) 集信処理でデータ検証エラーが発生しました。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

対処) この転送データは通信中にデータの異常や欠落が生じた可能性があります。ネットワークの状態を確認し、再度実行してください。

E111041

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111042

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111043

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。
対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111044

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。
対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E111045

内容) 集信処理でデータ検証エラーが発生しました。(配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)
対処) 配信側ホストがデータ検証に未対応のバージョン、もしくは集信管理情報で指定したデータ検証方式に未対応です。配信側ホストのバージョンと集信管理情報のデータ検証の設定を見直してください。

E112001

内容) 集信終了処理で集信テンポラリファイルの削除に失敗しました。
対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E112002

内容) 集信終了処理で集信ファイルの削除に失敗しました。

E112003

内容) 集信終了処理でフォーマット情報テンポラリファイルの削除に失敗しました。
対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E112004

内容) 集信終了処理で例外が発生しました。
対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E112005

内容) 集信終了処理で集信テンポラリファイルの削除に失敗しました。
対処) 集信ファイルを削除してください。

E113001

内容) 集信履歴ファイル(hulrcvlg.dat)へのパスが見つかりません。
対処) HULPATHの設定を確認してください。

E113002

内容) 集信履歴ファイル(hulrcvlg.dat)に対してのアクセス権がありません。
対処) 集信履歴ファイル(hulrcvlg.dat)へのアクセス権を確認してください。

E113003

内容) 集信履歴ファイル(hulrcvlg.dat)への書き込みに失敗しました。

E113004

内容) 集信履歴出力処理で例外が発生しました。
対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E114001

内容) 集信時間取得に失敗しました。

E114002

内容) 集信時間取得処理で例外が発生しました。

E114003

内容) 集信時間取得に失敗しました。

E114004

内容) 集信時間取得処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E115001

内容) 集信のメッセージ出力処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E116001

内容) 集信終了処理で集信ファイルの削除に失敗しました。

E116002

内容) 集信終了処理でフォーマット情報テンポラリファイルの削除に失敗しました。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E116003

内容) 集信終了処理で集信テンポラリファイルの削除に失敗しました。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E116005

内容) 集信終了処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E116008

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E117001

内容) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)へのパスが見つかりません。

対処) DB連携用モジュールが存在するか確認してください。

E117002

内容) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)が見つかりません。

対処) DBLINK.EXEが存在するか確認してください。存在しない場合は、再度HULFTをインストールしてください。

E117003

内容) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)へのアクセス権がありません。

対処) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)へのアクセス権を確認してください。

E117004

内容) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)の実行に失敗しました。

対処) DB連携用モジュール(DBLINK.EXE)が存在するか確認してください。

E117007

内容) DB連携処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E117008

内容) DB連携エラーログファイルがオープン出来ませんでした。

E117009

内容) DB連携エラーログファイルが削除出来ませんでした。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E117010

内容) DB連携エラーログファイルが削除出来ませんでした。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E118001

内容) チェックポイント集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E118002

内容) チェックポイント集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E118003

内容) チェックポイント集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E118004

内容) チェックポイント集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E118005

内容) チェックポイント集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E118006

内容) 集信処理で暗号の解読に失敗しました。

E119008

内容) CSVデータ変換処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E120001

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルを作成しようとしたますが、同一名のファイルが既に存在しています。

対処) システム動作環境設定ファイルのワークファイル作成パスの定義で指定したディレクトリに存在するフォーマット情報テンポラリファイル(rcvtmp.xxx)をすべて削除してください。

E120002

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルの作成パスが見つかりません。

対処) システム動作環境設定ファイルのワークファイル作成パスの定義で指定したディレクトリが存在するか確認してください。

E120003

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルの作成ディレクトリに対してアクセス権がありません。

対処) システム動作環境設定ファイルのワークファイル作成パスの定義で指定したディレクトリに対するアクセス権を確認してください。

E120004

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルの作成に失敗しました。

E120005

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルの削除に失敗しました。

対処) 一度HULFTを停止させ、テンポラリファイル作成ディレクトリに作成されたファイルを削除してください。

E120006

内容) 集信処理でフォーマット情報テンポラリファイルへの出力に失敗しました。

E120015

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E120016

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E120017

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてメモリが確保出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E120018

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E120019

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E120020

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてメモリが確保出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E120021

内容) 集信処理のフォーマット情報取得処理においてメモリが確保出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E121001

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)へのパスが見つかりません。

対処) ジョブ起動情報ファイル(hulixedb)へのパスが存在するか確認してください。

E121002

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)が見つかりません。

対処) ジョブ起動情報を登録してください。

E121003

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)に対するアクセス権がありません。

対処) ジョブ起動情報ファイル(hulixedb)へのアクセス権を確認してください。

E121004

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)は他の集配信プロセスで使用中です。

対処) HULFT以外のプロセスがジョブ起動情報ファイル(hulixedb)にアクセスしているかどうか確認してください。

E121005

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)に指定されたジョブIDが登録されていません。

対処) ジョブ起動情報を登録してください。

E121007

内容) (ID=%s)の集信後ジョブ(%s, ID=%s)の実行に失敗しました(エラーコード=%d)。

対処) ジョブ起動情報の内容を確認してください。

E121009

内容) 集信後ジョブ実行処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E121010

内容) 集信後ジョブ実行履歴出力処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E121011

内容) 集信後ジョブ実行履歴(hulexlgr)へのパスが見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E121012

内容) 集信後ジョブ実行履歴(hulexlgr)に対してのアクセス権がユーザにはありません。

対処) アクセス権を設定してください。

E121013

内容) 集信後ジョブ実行履歴(hulexlgr)の書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E121014

内容) 集信後ジョブの実行ファイルのドライブ指定に誤りがあります。

対処) 集信管理情報で設定した集信後ジョブIDをもとにジョブ起動情報を確認してください。

E121017

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)の読み込みに失敗しました。

E121018

内容) 集信後ジョブ実行処理でジョブ起動情報ファイル(hulixedb)の読み込みに失敗しました。

E121019

内容) 集信後ジョブ実行処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E121020

内容) 集信後ジョブ実行処理でスレッドの作成に失敗しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E121021

内容) 集信後ジョブ実行処理でイベントの作成に失敗しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E121022

内容) 集信後ジョブ実行処理でタイムアウトが発生しました。

対処) システム動作環境設定ファイルのジョブタイムアウト時間内に後続ジョブが完了しませんでした。ジョブタイムアウトを確認してください。

E121024

内容) 集信後ジョブ実行処理でイベントの作成に失敗しました。

E121025

内容) 集信後ジョブ実行処理でスレッドの作成に失敗しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E121028

内容) ジョブ名が長すぎます(ジョブ名=%s, ファイルID=%s)。

E122001

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122002

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122003

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122004

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122005

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122006

内容) 集信側コード変換処理に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E122007

内容) 集信側コード変換処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E122008

内容) 集信側コード変換処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E122009

内容) 集信側コード変換処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E122010

内容) 集信側コード変換処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E123001

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルが作成出来ませんでした。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。また、集信ファイル名.tmp.番号というファイル名が集信ディレクトリに存在する場合は、一度HULFTを停止してから削除してください。

E123002

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルが作成出来ませんでした。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。また、集信ファイル名.tmp.番号というファイル名が集信ディレクトリに存在する場合は、一度HULFTを停止してから削除してください。

E123003

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルが作成出来ませんでした。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。また、集信ファイル名.tmp.番号というファイル名が集信ディレクトリに存在する場合は、一度HULFTを停止してから削除してください。

E123004

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルのロックに失敗しました。

E123005

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルのロック解除に失敗しました。

E123006

内容) 集信ファイル復元処理に失敗しました。

E123007

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルの削除に失敗しました。

対処) 集信ファイル名.tmp.番号というファイル名が集信ディレクトリに存在する場合は、一度HULFTを停止してから削除してください。

E123008

内容) 集信ファイル復元処理のためのバックアップファイルの削除に失敗しました。

対処) 集信ファイル名.tmp.番号というファイル名が集信ディレクトリに存在する場合は、一度HULFTを停止してから削除してください。

E124001

内容) 世代管理情報ファイルのサイズ取得に失敗しました。

E124002

内容) 世代管理情報ファイルのオープンに失敗しました。

E124003

内容) 集信ファイルの世代管理に失敗しました。

対処) 新たに作成しようとした世代管理ファイルと同名のファイルが存在しないか確認してください。

E124004

内容) 世代管理情報ファイルの読込みに失敗しました。

E124005

内容) 世代管理情報ファイルへの出力に失敗しました。

E124006

内容) 世代管理情報ファイルへの出力に失敗しました。

E127003

内容) 暗号キー作成中にエラーが発生しました(エラーコード=%lu, 理由コード=%lu)。

対処) opensslの理由コードを参照しエラーの対処を行い、再度集信してください。

E129001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E129002

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E129004

内容) 集信処理でホスト情報の取得に失敗しました。

対処) 配信元ホストが詳細ホスト情報に登録されているか確認してください。

E129005

内容) 集信処理でホスト情報の取得に失敗しました。

対処) 配信元ホストが詳細ホスト情報に登録されているか確認してください。

E131001

内容) 受信可能通知処理に失敗しました(エラーコード=%d)。

対処) システム動作環境設定ファイルの受信可能通知の定義を確認してください。

E131002

内容) 受信可能通知処理に失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルの受信可能通知の定義を確認してください。

E131003

内容) 受信可能通知処理で例外が発生しました(エラーコード=%d)。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E132001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E132017

内容) 環境変数またはメッセージを置換して生成された集信ファイル名が長すぎます。

対処1) 集信ファイルパスを短く指定してください。

対処2) 配信ファイルパスまたは配信ファイル名を短く指定してください。

対処3) メッセージを短く指定してください。

E134001

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E134002

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E134003

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E134005

内容) データセットのオープンに失敗しました。

対処) 共有ボリューム上のデータセットがオープンできません。ボリューム定義ファイルおよび、配信側の配信管理情報の設定を確認してください。

E134008

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

E134009

内容) SAN転送処理用スレッドが作成できません。

E135005

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E135008

内容) データセットのクローズに失敗しました。

E135009

内容) SAN転送処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E135010

内容) データセットからの読み込みに失敗しました。

E135011

内容) マルチフォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E135012

内容) フォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとフォーマット情報が合っているか確認してください。

E135013

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました。

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E135014

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E136001

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E136002

内容) データセットのオープンに失敗しました。

対処) 共有ボリューム上のデータセットがオープンできません。ボリューム定義ファイルおよび、配信側の配信管理情報の設定を確認してください。

E136003

内容) ベリファイ処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E136004

内容) ベリファイ処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E136005

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

E136006

内容) ダンプファイルのオープンに失敗しました。

対処) ダンプファイル作成パスの指定および、アクセス権を確認してください。

E136007

内容) ダンプファイルの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E136008

内容) ダンプファイルの出力に失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E136009

内容) ベリファイ処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により集信プロセスが不安定になりました。集信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E139002

内容) 共有ボリュームのオープンに失敗しました。

対処) 共有ボリュームのオープンできません。エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E139004

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E139006

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E139008

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E139010

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139012

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度集信処理を実行してください。

E139013

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139015

内容) 共有ボリューム情報が不正です。

対処) 共有ボリューム情報に矛盾が発生しました。再度集信処理を実行してください。

E139016

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139017

内容) 集信処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139018

内容) 共有ボリュームからのデータの読み出しに失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E139021

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139022

内容) SAN転送情報に不整合が発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139023

内容) 共有ボリュームのクローズに失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E139024

内容) 集信処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E139025

内容) 配信元ホストで異常が発生しました。(エラーコード=%d) (配信元ホスト名=%s, ファイルID=%s)

対処) 配信側で発生したエラーの対処を行い、再度集信処理を行ってください。

E139026

内容) 集信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動してください。

E139027

内容) SAN転送情報に不整合が発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E140001

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E140002

内容) 集信処理でデータ長が不正です。

E140003

内容) マルチフォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E140004

内容) フォーマット情報と受信データの間で不整合が発生しました。

対処) 受信データとフォーマット情報が合っているか確認してください。

E140005

内容) 集信処理で集信ファイルへの書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E140006

内容) 集信処理でコード変換に失敗しました。

対処) 受信データとフォーマット情報が合っているか確認してください。

E141002

内容) 接続したホストは該当転送グループ情報 (ID=%s) に登録されていません。(接続ホスト名=%s, ファイルID=%s)

E143002

内容) CSVファイルのオープンに失敗しました。

E143003

内容) CSVファイルの書き込みに失敗しました。

E143004

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E145006

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

E145007

内容) IタイプデータはCSV変換できません。

E145008

内容) 項目長が不正です(項目No=%d, 項目名=%s)。

E145009

内容) 文字列タイプにNULLは使用できません(レコードNo=%l64d フォーマットNo=%d 項目No=%d 項目名=%s)。

E145010

内容) CSVデータの出力に失敗しました。

E145011

内容) CSV変換処理で例外が発生しました。

E145012

内容) CSV変換処理で例外が発生しました。

E145013

内容) Sタイプデータの展開に失敗しました(ステータス=%d レコードNo=%l64d フォーマット
No=%d 項目No=%d 項目名=%s)

E145014

内容) Pタイプデータの展開に失敗しました(ステータス=%d レコードNo=%l64d フォーマット
No=%d 項目No=%d 項目名=%s)。

E146001

内容) 集信ファイルサイズの取得に失敗しました。

E146002

内容) CSV変換用バッファの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E146003

内容) CSVファイル出力用バッファの確保に失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E146004

内容) 集信データの読み込みに失敗しました。

E146005

内容) CSV変換処理で例外が発生しました。

E146006

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E146007

内容) 集信ファイルの読み込みに失敗しました。

E146008

内容) 集信ファイルのシークに失敗しました。

E146009

内容) フォーマット情報が取得できませんでした。

E146010

内容) CSVデータの出力に失敗しました。

E147001

内容) (%d)転送状況表示処理で例外が発生しました。

E147002

内容) (%d)メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

3.4.2 要求受付のエラー (E2xxxxx)

E204001

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204002

内容) 要求元ホストのホスト名が取得出来ませんでした。

対処) hostsファイルに要求依頼元ホストが登録されているか確認してください。

E204003

内容) 要求受付処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E204004

内容) 要求受付処理で現在時刻の取得に失敗しました。

E204005

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204007

内容) 要求受付処理でパイプへの書き込みに失敗しました。

E204008

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204009

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204010

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E204011

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

E204012

内容) 要求受付処理でパイプへの書き込みに失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204013

内容) 要求受付処理でパイプからの読み込みに失敗しました。

E204014

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E204015

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204016

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204018

内容) 要求受付処理で認識出来ないサービスが要求されました(依頼ホスト名=%s, サービス名=%s)。

対処) 頻繁に表示される場合は、接続元ホストの使用者に連絡してください。

E204020

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204021

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204022

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204023

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204024

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204025

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E204026

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204027

内容) 要求受付処理でサービスとの通信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204028

内容) 要求受付処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204029

内容) 要求受付へ不正なプロトコルで接続されました。

対処) 不正なアプリケーションから接続されました。起動したアプリケーションが使用しているポート番号を確認してください。

E204030

内容) 要求受付処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204031

内容) 要求受付処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204032

内容) 要求受付処理で通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204033

内容) 要求受付処理でメモリの確保ができませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E204040

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204041

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E204042

内容) 要求受付処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E204043

内容) 要求発行元ホスト名が、詳細ホスト情報に登録されていません。(要求元ホスト名=%s)

対処) 要求発行元ホストからの接続が正しいか確認してください。正しい場合は要求発行元のホストを詳細ホスト情報に登録してください。

E204045

内容) 要求受付処理で要求発行元ホストからのサービスを拒否しました。(要求元ホスト名=%s, サービス名=%s)

対処) 要求発行元ホストからの要求が正しいか確認してください。正しい場合は詳細ホスト情報の受付許可を変更してください。

E204047

内容) 要求受付処理で詳細ホスト情報ファイルへのアクセスでエラーが発生しました。

対処) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)が存在するか、またはアクセス権の有無を確認してください。

E204048

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E205001

内容) 要求受付処理で要求受付定義ファイル(service.dat)へのパスが見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E205002

内容) 要求受付処理で要求受付定義ファイル(service.dat)が見つかりません。

対処) 要求受付定義ファイルが存在するか確認してください。存在しない場合は、HULFTを再インストールしてください。

E205003

内容) 要求受付処理で要求受付定義ファイル(service.dat)に対してアクセス権がありません。

対処) アクセス権を設定してください。

E205004

内容) 要求受付処理で要求受付定義ファイル(service.dat)がオープン出来ませんでした。

E205005

内容) 要求受付処理で要求されたサービスが要求受付定義ファイル(service.dat)に見つかりません。

対処) 要求受付定義ファイルが破壊されている可能性があります。このエラーが頻繁に発生するようでしたら、HULFTを再インストールしてください。

E205006

内容) 要求受付処理でサービス情報取得処理中に例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E206001

内容) 要求受付処理でUTLSENDとのパイプの作成に失敗しました。

E206002

内容) 要求受付処理でUTLSENDの起動に失敗しました。

対処) utlsend.exeが存在する事を確認してください。

E206004

内容) 要求受付処理でUTLSENDとのパイプの接続に失敗しました。

E206005

内容) 要求受付処理でUTLSENDとのパイプの設定に失敗しました。

E206006

内容) 要求受付処理のUTLSEND起動処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により要求受付プロセスが不安定になりました。要求受付プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E206007

内容) 要求受付処理でサービスコマンドの起動に失敗しました。

対処) サービス名がSEND、RESENDの場合、配信要求コマンドutlsend.exeの存在、アクセス権を確認してください。また、サービス名がHULSNDRCの場合、ジョブ通知コマンドhulsndrc.exeの存在、アクセス権を確認してください。

E206008

内容) 要求受付処理でサービスコマンドとの接続に失敗しました。

対処) サービスポート番号の確認をしてください。また、コネクションリトライ回数の値を増やしてください。

E206009

内容) 要求受付処理でサービスコマンドとの接続に失敗しました。

対処) サービスポート番号の確認をしてください。また、コネクションリトライ回数の値を増やしてください。

E206010

内容) サービス起動処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により要求受付プロセスが不安定になりました。要求受付プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E207001

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E207002

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E207003

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E207004

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E207005

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E207006

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E207007

内容) 要求受付処理のメッセージ送信処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により要求受付プロセスが不安定になりました。要求受付プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E207008

内容) (%d)製品情報の取得に失敗しました。

対処) システムファイル(hulft.sys)が壊れている可能性があります。再インストールを行ってください。

E209001

内容) 要求受付処理のエラーメッセージ表示処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E211001

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)へのパス見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E211002

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)に対してのアクセス権がありません。

対処) 要求受付履歴(hulobslg)へのアクセス権を確認してください。

E211003

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)への書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E211004

内容) 要求受付履歴出力処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E212001

内容) 要求受付エラー処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E212002

内容) 要求受付エラー処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E212003

内容) 要求受付エラー処理でデータの受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E214001

内容) 管理画面通信起動処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E214002

内容) 管理画面用制御チェーンの接続が出来ませんでした。

E214003

内容) 管理画面通信起動処理に失敗しました。

対処) 管理画面(hulwin.exe)の存在、アクセス権を確認してください。

E214004

内容) 管理画面通信起動処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E220001

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)へのパス見つかりません。

対処) HULPATHが正しく設定されているか確認してください。

E220002

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)に対してのアクセス権がありません。

対処) 要求受付履歴(hulobslg)へのアクセス権を確認してください。

E220003

内容) 要求受付履歴ファイル(hulobslg.dat)への書き込みに失敗しました。

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E220004

内容) 要求受付履歴出力処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

E220005

内容) (%d)製品情報の取得に失敗しました。

対処) システムファイル(hulft.sys)が壊れている可能性があります。再インストールを行ってください。

E227001

内容) HULFT内部でエラーが発生しました。

E227002

内容) 接続先バージョンが7.0.0未満の下位Managerからアクセスがありました。

対処) HULADMIN V700未満の場合、下位Managerからは接続できません。

E227003

内容) DLLロードに失敗しました。

E227004

内容) 接続先情報取得に失敗しました。

E227005

内容) ファイルアクセスでエラーになりました。

E228001

内容) 要求発行元ホスト名が、詳細ホスト情報に登録されていません。(要求元ホスト名=%s)

対処) 要求発行元ホストからの接続が正しいか確認してください。正しい場合は要求発行元のホストを詳細ホスト情報に登録してください。

E228002

内容) 要求受付処理で要求発行元ホストからのサービスを拒否しました。(要求元ホスト名=%s, サービス名=%s)

対処) 要求発行元ホストからの要求が正しいか確認してください。正しい場合は詳細ホスト情報の受付許可を変更してください。

E228003

内容) 要求受付処理で詳細ホスト情報ファイルへのアクセスでエラーが発生しました。

対処) 詳細ホスト情報ファイル(hulhstdb)が存在するか、またはアクセス権の有無を確認してください。

E240010

内容) 要求受付処理でデータの取得に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E240011

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに要求受付処理を再実行してください。

E240012

内容) 要求受付処理でデータの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E240013

内容) 要求受付処理のメッセージ送信処理において例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

3.4.3 配信のエラー (E3xxxxx)

E330005

内容) バージョンの不整合のため配信できません。

対処) 配信管理情報のコード変換を確認してください。

E330006

内容) バージョンの不整合のためフォーマット配信できません。

E330007

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) フォーマット情報ファイルが存在するか確認してください。

E330010

内容) プログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E330017

内容) バージョンの不整合のためブロック長×ブロック数が32767バイトを超えての配信できません。

対処) 配信管理情報のブロック長およびブロック数を確認してください。

E330018

内容) バージョンの不整合のためマルチフォーマット配信できません。

E330019

内容) バージョンの不整合のためファイルサイズが2Gバイトを超えての配信できません。

対処) 配信ファイルサイズを確認してください。

E330020

内容) バージョンの不整合のため集信側変換でシフトコードなしの指定での配信はできません。

対処) 下位バージョンへの配信時は配信管理情報でシフトコードありの指定をしてください。

E330030

内容) 集信側ホストのバージョンはSAN転送が行えるバージョンではありません。

対処) 詳細ホスト情報の設定を見直してください。

E330032

内容) 接続形態がSAN(XLD)となっていますが、集信側ホストは対応するSAN連携オプションが導入されてないため、SAN(XLD)転送が行えません。

対処) 詳細ホスト情報の接続形態の設定を見直してください。

E330035

内容) 配信処理でコード変換に失敗しました。(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)

対処) データとフォーマット情報が一致しているか確認してください。

E331005

内容) 自ホスト名の取得に失敗しました。

E331006

内容) 自ホスト名の取得に失敗しました。

E331007

内容) 配信ファイルサイズの取得に失敗しました。

対処) 配信管理情報に登録した配信ファイルが存在するか確認してください。

E331012

内容) 配信ファイル(==%s)のオープンに失敗しました(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s)。
対処) アクセス権を設定してください。

E331043

内容) 配信先ホストのソケットに接続することができませんでした。
対処1) 配信先の集信プロセスが立ち上がっているか確認してください。
対処2) 配信先の集信ポートNoと、詳細ホスト情報に登録されている集信ポートNoが、合致しているか確認してください。
対処3) hostsファイルに配信先ホスト名とIPアドレスが登録されているか確認してください。

E331045

内容) 配信スレッドイニシャル処理でプログラム例外が発生しました。
対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E331046

内容) ファイル格納ドライブの指定に誤りがあります。
対処) 配信管理情報の配信ファイルドライブが存在するか確認してください。

E331047

内容) 他のプロセスが使用中のため配信ファイルをオープンできません。
対処) ファイルオープンのリトライ回数を増やすか、あるいは他のプロセスがファイルを、開放するまで待ってから配信してください。

E331048

内容) 配信ファイルのオープンに失敗しました。

E331049

内容) 配信ファイルのオープンに失敗しました。

E331050

内容) 他のプロセスが使用中のため配信ファイルをオープンできません。
対処) ファイルオープンのリトライ回数を増やすか、あるいは他のプロセスがファイルを、開放するまで待ってから配信してください。

E331051

内容) ソケットの初期化処理に失敗しました。

E331052

内容) チェックポイント配信しようとしたましたが元ファイルとファイルサイズが異なります。

E331058

内容) 配信ファイルのロックに失敗しました。(配信ファイルの扱い=削除時)
対処) エラーコードを参照して対処してください。

E332001

内容) ファイル情報電文の送信に失敗しました。
対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E332002

内容) ファイル情報電文の送信処理でプログラム例外が発生しました。
対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E333001

内容) 受け取り確認電文の受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E333002

内容) 配信先ホストで異常発生(エラーコード==%d) (配信先ホスト名=%s, ファイル=%s)。

対処) 配信先の集信履歴ファイルおよびコンソールログを確認してください。

E333003

内容) 受け取り確認電文の受信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E333004

内容) 受け取り確認電文の受信処理で不明電文を受け取りました。他のポートに接続した可能性があります。

対処) 配信先の集信のポート番号と詳細ホスト情報に登録されているポート番号が正しいか確認してください。

E333008

内容) 使用可能メモリが不足しています。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334001

内容) データ電文送信用バッファのメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334002

内容) ファイルポインタの移動に失敗しました。

E334003

内容) ファイルポインタの移動に失敗しました。

E334004

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E334005

内容) データ電文送信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E334006

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E334007

内容) 配信ファイルの1行の文字数が多すぎます。

対処) レコードが最大長の32767バイトを超えています。32767バイト以下で転送を行ってください。

E334008

内容) 配信ファイルの漢字コード変換に失敗しました。

対処) データの内容を確認してください。

E334009

内容) 配信ファイルの横圧縮に失敗しました。

E334010

内容) 配信ファイルの縦横圧縮に失敗しました。

E334011

内容) 配信ファイル読み込みバッファメモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334012

内容) 配信ファイルコード変換用バッファメモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334013

内容) 配信ファイル圧縮用バッファメモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334014

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E334015

内容) 配信ファイルのファイルポインタの移動に失敗しました。

E334016

内容) 配信ファイルの漢字コード変換に失敗しました。

対処) データの内容を確認してください。

E334017

内容) 配信ファイルの横圧縮に失敗しました。

E334018

内容) 配信ファイルの縦横圧縮に失敗しました。

E334019

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) フォーマット情報ファイルが存在するか確認してください。

E334020

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

E334021

内容) フォーマット情報格納メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E334022

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

E334023

内容) データ電文の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E334024

内容) ファイルポインタの移動に失敗しました。

E334026

内容) 漢字コード変換によって1レコード長が最大長32767バイトを超えました。

対処) 集信側変換で配信を行ってください。

E334027

内容) 圧縮によって1レコード長が最大長32767バイトを超えました。

対処) 圧縮無しで転送を行うように、配信管理情報に登録してください。

E334029

内容) データの暗号化に失敗しました。

E334030

内容) データの暗号化に失敗しました。

E334031

内容) データの暗号化に失敗しました。

E334032

内容) フォーマット情報と配信ファイルの整合性がとれていません。

対処) フォーマット情報と配信ファイルのレコードフォーマットが一致しているか確認してください。

E334034

内容) 暗号出口ルーチン処理でエラーが発生しました。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再度配信してください。

E334036

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E334037

内容) 通信タイムアウトが発生しました。

対処) タイムアウトした可能性があります。ソケットリードタイムアウトの時間を増やしてください。

E335001

内容) フォーマット情報の項目数の読み込みに失敗しました。

E335002

内容) フォーマット情報の項目数の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E335003

内容) フォーマット情報の読み込みに失敗しました。

E335004

内容) フォーマット情報の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E335005

内容) データベース電文送信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E335006

内容) フォーマット情報の項目名のコード変換に失敗しました。

E336003

内容) 終了処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E336004

内容) 配信ファイルのシークに失敗しました。

E336005

内容) 配信ファイルのクリアに失敗しました。

E336006

内容) 終了処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E336007

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E336010

内容) 配信ファイルの削除に失敗しました。

E337003

内容) ジョブ起動情報ファイル(hulixedb)がオープン出来ませんでした。

E337004

内容) ファイルID=(%s)のジョブID=(%s)はジョブ起動情報ファイルに未登録です。

対処) 配信管理情報で設定した配信後ジョブIDをもとにジョブ起動情報を確認してください。

E337005

内容) ジョブ起動情報ファイル(hulixedb)のセキュリティがありません。

対処) アクセス権を設定してください。

E337006

内容) ジョブ起動情報ファイル(hulixedb)が存在しません。

対処) ジョブ起動情報が存在するか確認してください。

E337009

内容) (ID=%s)の配信後ジョブ(%s, ID=%s)の実行に失敗しました(エラーコード=%d)。

対処) ジョブ起動情報に登録されているジョブが存在するか確認してください。

E337010

内容) ジョブ起動処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E337011

内容) ジョブ起動履歴ファイルの書き込みに失敗しました。

対処) アクセス権を設定してください。

E337012

内容) 起動ジョブ格納ドライブの指定に誤りがあります。

対処) 起動ジョブの存在する格納ドライブの指定を確認してください。

E337014

内容) ジョブ名が長すぎます(ジョブ名=%s, ファイルID=%s)。

E338001

内容) 配信履歴ファイルの書き込みに失敗しました。

対処) アクセス権を設定してください。

E338002

内容) 配信履歴ファイル書き込み処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E340002

内容) 再配信待ちファイル書き込み処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E340005

内容) 再配信待ちファイルのロックに失敗しました。

E341001

内容) チェックポイント情報電文の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E341002

内容) チェックポイント情報電文の送信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E341003

内容) チェックポイント情報電文用メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E341006

内容) チェックポイント情報電文の送信処理で暗号化に失敗しました。

E343001

内容) コード変換処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E343002

内容) コード変換処理でプログラム例外が発生しました(テキスト転送)。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E344001

内容) チェックポイント送信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E346001

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E346002

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E346003

内容) PROXYサーバでエラーが発生しました(エラーコード==%d)(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s)。

対処) PROXYサーバでエラーコードを確認し、対処を行ってください。

E346004

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E346005

内容) PROXY電文送信処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E346006

内容) HULFT FirewallまたはHULFT-HUB Server V2.2未満には接続できません。

対処) サポートバージョンを確認してください。

E347001

内容) 通信エラーが発生しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E347002

内容) マルチフォーマット情報が未登録です。

対処) マルチフォーマット情報を登録してください。

E347003

内容) マルチフォーマット情報ファイルにアクセス権がありません。

対処) マルチフォーマット情報ファイルのアクセス権を確認してください。

E347004

内容) マルチフォーマット情報が存在しません。

対処) マルチフォーマット情報を登録してください。

E347005

内容) マルチフォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) マルチフォーマット情報ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E347006

内容) 使用可能メモリが不足しています。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E347007

内容) フォーマット情報ファイル(%s)のオープンに失敗しました(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, エラーコード==%d,%d)。

対処) フォーマット情報ファイルが存在するか、または他のプロセスが使用中でないか確認してください。

E347008

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) フォーマット情報ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E347009

内容) フォーマット情報に不整合があります。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E348001

内容) 使用可能メモリが不足しています。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E348002

内容) 配信ファイルのシークに失敗しました。

対処) 配信ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E348003

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 配信ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E348004

内容) データ中のキーに不正なキー項目が存在します。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E348005

内容) コード変換に失敗しました。

対処) 配信データの内容を確認してください。

E348006

内容) データの圧縮に失敗しました。

E348007

内容) データの圧縮後1レコードの最大長を超えました。

対処) 圧縮無しで転送を行うように、配信管理情報で登録してください。

E348008

内容) データの暗号化に失敗しました。

E348009

内容) データとマルチフォーマット情報の整合性がとれていません。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E349001

内容) 使用可能メモリが不足しています。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E349002

内容) 配信ファイルのシークに失敗しました。

対処) 配信ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E349003

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 配信ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E349004

内容) データの圧縮に失敗しました。

E349005

内容) データの圧縮後1レコードの最大長を超えました。

対処) 圧縮無しで転送を行うように、配信管理情報で登録してください。

E349006

内容) データの暗号化に失敗しました。

E351001

内容) (%d)RAID転送スレッドの生成に失敗しました。

E351008

内容) コード変換指定が不正です。配信側変換か無変換を指定してください。

対処) コード変換を配信側で行うか、LAN経由で転送してください。

E351010

内容) 共有ボリュームが参照できません。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, データセット名=%s, ボリューム通番=%s)

対処) 中間ボリューム上のデータセットがオープンできません。ボリューム定義ファイルおよび、配信先ホストの集信管理情報の設定を確認してください。

E351013

内容) RAID連携メニュー処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E351014

内容) データセットのクローズに失敗しました。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, データセット名=%s, ボリューム通番=%s)

E351015

内容) RAID連携ドライバが使用できません。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, エラーコード=%d、%d)

E352001

内容) RAID連携データセット情報電文の送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E352002

内容) (%d)RAID連携データセット情報電文の送信で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E353001

内容) 電文の受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E353002

内容) RAID連携データセット情報電文の受信に失敗しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E353003

内容) 異常電文の受信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E353004

内容) 受信処理で不明電文を受け取りました。

E353005

内容) 受信処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E353008

内容) 配信先ホストで異常発生(エラーコード==%d)(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)

対処) 配信先の集信履歴ファイルを確認してください。

E354002

内容) RAID転送中に例外が発生しました。

対処) 何らかの理由により配信プロセスが不安定になりました。配信プロセスを一度停止させ、再起動してください。

E354003

内容) 不正な転送タイプです。

E354004

内容) データセットの書き込みに失敗しました。

E354005

内容) バッファのメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度配信処理を実行してください。

E354006

内容) フォーマット情報と配信ファイルの整合性がとれていません。

対処) フォーマット情報と配信ファイルのレコードフォーマットが一致しているか確認してください。

E354009

内容) 配信ファイルのレコード長が定義より長い場合書き込みに失敗しました。

対処) 相手先ファイルのレコード長を長く設定してください。

E354010

内容) マルチフォーマット情報が未登録です。

対処) マルチフォーマット情報を登録してください。

E354011

内容) マルチフォーマット情報にアクセス権がありません。

対処) マルチフォーマット情報のアクセス権を確認してください。

E354012

内容) マルチフォーマット情報が存在しません。

対処) マルチフォーマット情報を登録してください。

E354013

内容) マルチフォーマット情報のオープンに失敗しました。

対処) マルチフォーマット情報が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E354014

内容) 使用可能メモリが不足しています。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度配信処理を実行してください。

E354015

内容) フォーマット情報ファイル(%s)のオープンに失敗しました。(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s, パスポート == %d, %05d)

対処) フォーマット情報ファイルが存在するか確認してください。

E354016

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

E354017

内容) フォーマット情報に不整合があります。

対処) フォーマット情報と配信ファイルのレコードフォーマットが一致しているか確認してください。

E355001

内容) 配信データの読み込みに失敗しました。

E355002

内容) 配信ファイルの1行の文字数が多すぎます。

対処) レコードが最大長の32767バイトを超えています。32767バイト以下で転送を行ってください。

E355003

内容) 配信ファイルの漢字コード変換に失敗しました。

対処) データの内容を確認してください。

E355006

内容) バッファのメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度配信処理を実行してください。

E355007

内容) データ中に不正なキーが存在します。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E355008

内容) データとマルチフォーマット情報の整合性がとれていません。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報およびフォーマット情報が合っているか確認してください。

E355009

内容) フォーマット情報ファイルのオープンに失敗しました。

対処) フォーマット情報ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E355010

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

E355011

内容) フォーマット情報格納メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止し、再度配信処理を実行してください。

E355012

内容) フォーマット情報ファイルの読み込みに失敗しました。

E356001

内容) ベリファイ時にデータセットのクローズに失敗しました。

E356002

内容) ベリファイ時にデータセットのオープンに失敗しました。

E356003

内容) データセット情報の取得に失敗しました。

E356004

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 配信ファイルが他のプロセスで使用中でないか確認してください。

E356005

内容) データセットの読み込みに失敗しました。

E356006

内容) 不正な転送タイプです。

E356007

内容) ダンプファイルのオープンに失敗しました。(ファイル名=%s,エラーコード==%d,%05d)

対処) ダンプファイル作成パスの指定および、アクセス権を確認してください。

E356008

内容) ダンプファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル名=%s,エラーコード==%d,%05d)

対処) ディスクの空き容量を確認してください。

E356010

内容) バッファのメモリアロケートに失敗しました。

E357001

内容) 共有ボリュームのオープンに失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E357004

内容) 共有ボリュームへのデータ出力に失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E357005

内容) スライスの切り替えに失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E357006

内容) 共有ボリュームのクローズに失敗しました。

対処) エラーコードの下2桁からXLデータムーバ利用手引書を参照してください。

E357007

内容) SAN連携処理でメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E357010

内容) フォーマット情報と配信ファイルの整合性がとれていません。

対処) 配信データとフォーマット情報およびマルチフォーマット情報が合っているか確認してください。

E357011

内容) SAN連携処理でメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E357012

内容) SAN連携処理でメモリアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに配信処理を再実行してください。

E357014

内容) データの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E357015

内容) データの送信に失敗しました。

対処) ソケットが切断された可能性があります。確認してください。

E357016

内容) 配信先ホストで異常発生(エラーコード==%d)(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)
対処) 配信先の集信履歴を確認してください。

E357017

内容) 配信先ホストで異常発生(エラーコード==%d)(配信先ホスト名 = %s, ファイルID = %s)
対処) 配信先の集信履歴を確認してください。

E357019

内容) SAN連携ドライバが使用できません。(配信先ホスト名=%s, ファイルID=%s, エラーコード=%d、%d)
対処) 環境を確認してください。表示される詳細コードはOSの返すエラーコードです。
WindowsAPIのドキュメントを参照してください。

E358001

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358002

内容) 配信ファイルの1行の文字数が多すぎます。
対処) レコードが最大長の32767バイトを超えています。32767バイト以下で転送を行ってください。

E358003

内容) 配信ファイルの漢字コード変換に失敗しました。
対処) データの内容を確認してください。

E358004

内容) 漢字コード変換によって1レコード長が最大長32767バイトを超えました。
対処) 集信側変換で配信を行ってください。

E358005

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358006

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358007

内容) 配信ファイルの漢字コード変換に失敗しました。
対処) データの内容を確認してください。

E358008

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358009

内容) データ中のキーに不正なキー項目が存在します。
対処) 配信データとマルチフォーマット情報が合っているか確認してください。

E358010

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358011

内容) フォーマット情報と配信ファイルの整合性がとれていません。
対処) 配信データとフォーマット情報が合っているか確認してください。

E358013

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358014

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E358015

内容) データ中のキーに不正なキー項目が存在します。

対処) 配信データとマルチフォーマット情報が合っているか確認してください。

E358016

内容) 配信ファイルの読み込みに失敗しました。

E359002

内容) 暗号キー作成中にエラーが発生しました(エラーコード=%#.8x, 理由コード=%lu)。

対処) opensslの理由コードを参照しエラーの対処を行い、再度配信してください。

E359003

内容) 暗号キー作成に失敗しました(エラーコード=%lu)。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再度配信してください。

E359004

内容) 暗号キーの暗号化に失敗しました(エラーコード=%#.8x, 理由コード=%lu)。

対処) opensslの理由コードを参照しエラーの対処を行い、再度配信してください。

3.4.4 スケジューラのエラー (E8xxxxx)

E800032

内容) スケジュールID=%sの監視に失敗しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

E801019

内容) 環境設定ファイルの読み込みに失敗しました(休日とする曜日)。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E801021

内容) 環境設定ファイルの読み込みに失敗しました(祝日の扱い)。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E801023

内容) 環境設定ファイルの読み込みに失敗しました(スケジューリング時間)。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E802006

内容) 当日分スケジュールファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 当日分スケジュールファイル(schtoday.dat)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E802007

内容) 当日分スケジュールファイルへの出力でエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) ディスクの空き容量を確認してください。またはアクセス権を確認してください。

E803016

内容) スケジュール処理でメモリ不足が発生しました。 スケジュールID=%s, エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 不要なプログラムを停止したのちに処理を再実行してください。

E803017

内容) スケジュール処理でサービスとの通信に失敗しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

E803018

内容) スケジュール処理で通信エラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

E803029

内容) スケジュール処理でキャンセル・イベントの作成に失敗しました。 スケジュールID=%s, エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 何らかの理由によりスケジュールプロセスが不安定になりました。スケジュールプロセスを一度停止させ、再起動してください。

E803030

内容) スケジュール処理でスレッドの作成に失敗しました。 スケジュールID=%s, エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 何らかの理由によりスケジュールプロセスが不安定になりました。スケジュールプロセスを一度停止させ、再起動してください。

E803031

内容) スケジュール処理で同期イベントの作成に失敗しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

E804012

内容) 祝祭日ファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 祝祭日ファイル(schholiday.dat)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E804013

内容) 祝祭日ファイルからの読み込みでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 祝祭日ファイル(schholiday.dat)のアクセス権を確認してください。または他のプロセスが使用中でないか確認してください。

E804014

内容) 指定休日ファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 指定休日ファイル(userhday.dat)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E804015

内容) 指定休日ファイルからの読み込みでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 指定休日ファイル(userhday.dat)のアクセス権を確認してください。または他のプロセスが使用中でないか確認してください。

E805008

内容) スケジュール情報ファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) スケジュール情報ファイル(schinfdb)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E805009

内容) スケジュール情報ファイルからの読み込みでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) スケジュール情報ファイル(schinfdb)のアクセス権を確認してください。または他のプロセスが使用中でないか確認してください。

E805033

内容) スケジュール処理でメモリ不足が発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 不要なプログラムを停止したのちに集信処理を再実行してください。

E806003

内容) スケジュールID=%sの実行に失敗しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 実行ジョブが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E806031

内容) スケジュールID=%sのキャンセルに失敗しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

E806034

内容) 当日分スケジュールファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) 当日分スケジュールファイル(schtoday.dat)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

E806035

内容) 当日分スケジュールファイルへの出力でエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) ディスクの空き容量を確認してください。またはアクセス権を確認してください。

E808010

内容) スケジュール履歴ファイルのオープンでエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) スケジュール履歴ファイル(schlog.dat)のアクセス権を確認してください。

E808011

内容) スケジュール履歴ファイルへの出力でエラーが発生しました。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

対処) ディスクの空き容量を確認してください。またはアクセス権を確認してください。

E810036

内容) スケジューラのパイプ作成に失敗しました(name=%s)。 エラーコード=%ld, 詳細コード=%ld

3.4.5 操作ログのエラー (EPxxxxx)

EP01001

内容) システム動作環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01002

内容) HULPATHが設定されていません。(詳細コード`=%lu)

対処) HULPATHの設定を確認してください。

EP01003

内容) op! フォルダの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) HULPATHフォルダ以下が正常に使用できるか確認してください。

EP01004

内容) ファイルアクセスログファイルのロックに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01005

内容) コマンド実行ログファイルのロックに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01006

内容) ファイルアクセスログダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01007

内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01008

内容) コマンド実行ログダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01009

内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01010

内容) ファイルアクセスログファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01011

内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01012

内容) コマンド実行ログファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01013

内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP01014

内容) ファイルアクセスログファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP01015

内容) ファイルアクセスログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP01016

内容) コマンド実行ログファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP01017

内容) コマンド実行ログ(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02001

内容) ファイルアクセスログファイルが存在しません。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02002

内容) コマンド実行ログファイルが存在しません。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02003

内容) ファイルアクセスログファイルの切り替えに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルシステム、OSの異常等が考えられます。環境を確認してください。

EP02004

内容) コマンド実行ログファイルの切り替えに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルシステム、OSの異常等が考えられます。環境を確認してください。

EP02005

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02006

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのロックに失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02007

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02008

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02009

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)
対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02010

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ダミーファイルの作成に失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02011

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02012

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02013

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02014

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルのオープンに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルが存在するか、またはアクセス権を確認してください。

EP02015

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02016

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02017

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02018

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理(バックアップ)ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02019

内容) ファイルアクセスログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

EP02020

内容) コマンド実行ログ切り替え世代管理ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細コード`=%lu)

対処) ファイルのアクセス権を確認してください。

3.5 エラー(重度)

3.5.1 サービスのエラー (X0xxxxx)

X001101

内容) hulenv.cnfを読み込めません。環境を確認してください。

対処1) ファイルが存在するか確認してください。

対処2) ファイルのアクセス権を確認してください。

対処3) ファイルが破壊されている可能性があります。

X001102

内容) 既に起動中です。複数動作はサポートされていません。

X001103

内容) Win32s上での動作はサポートされていません。

X001110

内容) (%d)管理画面プロセスの生成に失敗しました。

X001203

内容) (%d)コンソールプロセスへのパイプ出力に失敗しました。

X001204

内容) (%d)%sの終了に失敗しました。

X001301

内容) (%d)コンソールプロセス間のパイプ作成に失敗しました。

X001302

内容) (%d)コンソールプロセス書き込み用イベントの生成に失敗しました。

X001304

内容) (%d)コンソールプロセスの生成に失敗しました。

X001305

内容) (%d)コンソールプロセス間のパイプ接続に失敗しました。

X001306

内容) (%d)コンソールとのパイプ作成に失敗しました。

X001307

内容) (%d)コンソールプロセス間のマップファイル作成に失敗しました。

X001319

内容) (%d)HULCON.LOGファイル書き込みイベント作成失敗しました。

X001320

内容) (%d) アイコンのタスクトレイへの追加に失敗しました。

X002000

内容) (%d)SYSログのオープンに失敗しました。

対処) 再起動しても発生するようでしたらSYSログのアクセス権を確認あるいはファイルを削除してください。

X002020

内容) (%d)コンソールプロセス用イベントの生成に失敗しました。

X002030

内容) (%d) コンソールのパイプ作成に失敗しました。

X002040

内容) (%d) コンソールのパイプ読み込みに失敗しました。

X002050

内容) (%d) コンソールの出力に失敗しました。

X002060

内容) (%d) SYSログの出力に失敗しました。

対処) 再起動しても発生するようでしたらSYSログのアクセス権を確認あるいはファイルを削除してください。

X002070

内容) (%d) コンソールの作成に失敗しました。

X002080

内容) (%d) コンソールのシグナルハンドラ設定に失敗しました。

X002090

内容) (%d) コンソールの出力ハンドラの読み込みに失敗しました。

X002130

内容) SYSログのバックアップに失敗しました。

対処) 再起動しても発生するようでしたらSYSログのアクセス権を確認あるいはファイルを削除してください。

X003010

内容) (%d) コンソール出力用イベントの生成に失敗しました。

X003020

内容) プログラムインタフェースエラー (IX=%d)

X003030

内容) (%d)%sのパイプ作成に失敗しました (name=%s)。

X003040

内容) (%d)%s接続用イベントの生成に失敗しました。

X003050

内容) (%d)%sの生成に失敗しました。

X003060

内容) (%d)%sのパイプ接続に失敗しました。

X003070

内容) (%d)%s読み込み用イベントの生成に失敗しました。

X003080

内容) (%d)%s書き込み用イベントの生成に失敗しました。

X003090

内容) プログラムインタフェースエラー (IX=%d)

X003100

内容) (%d)%sへの初期メッセージ転送に失敗しました。

X003110

内容) (%d)%sとのパイプが終了しました。

対処) プロセスの強制終了を実行すると発生します。

X003120

内容) (%d)%sからの受け取りに失敗しました。

X003160

内容) (%d)ユーザのログオン認証に失敗しました(%s)。

対処) システム動作環境設定ファイルのアカウント設定で、登録されているアカウント名、ドメイン名、パスワードの認証に失敗したためHULFTを起動することができませんでした。アカウント名、ドメイン名、パスワードをシステム管理者に問い合わせてください。

X003170

内容) (%d)%sの生成に失敗しました。

X004040

内容) (%d)初期メッセージの読み込みに失敗しました。

X004041

内容) 初期メッセージの読み込みに失敗しました(タイムアウト)。

X004050

内容) (%d)%sのスレッドの生成に失敗しました。

X004060

内容) (%d)%sの監視スレッド生成に失敗しました。

X004070

内容) (%d)メインプロセスからのメッセージ読み込みに失敗しました。

X010108

内容) (%d)%sのパイプ監視スレッド作成に失敗しました。

X010301

内容) 動作がサポートされていないOSです。

対処) 製品形態で動作がサポートされているOSを確認してください。

X010302

内容) このモジュールはテストユース版です。使用期限が切れています。

対処) 正式版へ切り替えてください。切り替えを行う場合は、弊社までご連絡ください。

X010303

内容) %sのオープンに失敗しました(%d)。

X010304

内容) システムファイルが不正です。

対処) システムファイルが壊れている可能性があります。再インストールを行ってください。

X010305

内容) (%d)サービス制御ディスパッチスレッド終了イベントの作成に失敗しました。

対処) エラーコードを参照しエラーの対処を行い、再起動してください。

3.5.2 集信のエラー (X1xxxxx)

X102004

内容) (%d)集信処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からテンポラリファイル作成パスの読み込みに失敗しました。

対処) ファイル作成パスの読み込みに失敗しました。システム動作環境設定ファイルが存在するか確認してください。

X102005

内容) (%d)集信処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からJIS年度の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルが存在するか確認してください。

X102006

内容) (%d)集信処理でシステムエラーが発生しました。

X102007

内容) (%d)集信処理の初期処理において例外が発生しました。

X102009

内容) (%d)集信処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)から集信ポート番号の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

X102010

内容) (%d)集信処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からソケットリードタイムアウトの読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

X102011

内容) (%d)集信処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からスペースの扱いの読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、またはアクセス権を確認してください。

X102012

内容) (%d)集信処理で外字ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 外字ファイル(GTETOS.XTD,GTITOS.XTD,GTJTOS.XTD,GTKTOS.XTD)がHULPATH¥GTF以下に存在するか、またはアクセス権を確認してください。

X102013

内容) (%d)集信処理でOSの情報取得に失敗しました。

X102014

内容) (%d)集信処理でシステムファイルの読み込みに失敗しました。

対処) システムファイル (HULFT.SYS) が壊れている可能性があります。再インストールを行ってください。

X102021

内容) (%d)暗号出口ルーチンライブラリのロードに失敗しました。

対処) 暗号出口ルーチンライブラリが存在するか確認してください。

X102022

内容) (%d)暗号出口ルーチン初期化関数の読み込みに失敗しました。

対処) 暗号出口ルーチン初期化関数が存在するか確認してください。

X102023

内容) (%d)暗号出口ルーチン関数の読み込みに失敗しました。

対処) 暗号出口ルーチン関数が存在するか確認してください。

X102024

内容) (%d)暗号出口ルーチン終了関数の読み込みに失敗しました。

対処) 暗号出口ルーチン終了関数が存在するか確認してください。

X103005

内容) (%d)集信処理でソケットのオープンに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルの集信ポート番号および、システムのTCP/IPの設定を確認してください。

X103006

内容) (%d)集信処理でソケットの非ブロック化に失敗しました。

対処) システムのTCP/IPの設定を確認してください。

X103007

内容) (%d)集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X103008

内容) (%d)集信処理でシステムエラーが発生しました。

X103010

内容) 集信処理スレッドの作成に失敗しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

X103011

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X103012

内容) 集信用制御チェーンの接続が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

X103013

内容) 集信処理で例外が発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X103014

内容) 集信受付処理でエラーが発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

X103015

内容) 集信処理スレッドの作成に失敗しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

X103016

内容) 集信処理でメモリの確保が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X103017

内容) 集信用制御チェーンの接続が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

X103018

内容) 集信処理で例外が発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 何らかの原因により、集信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X103019

内容) (%d)集信処理でソケットの設定に失敗しました

X103021

内容) (%d)集信処理でソケット(IPv6)のオープンに失敗しました。

3.5.3 要求受付のエラー (X2xxxxx)

X202001

内容) (%d)要求受付のコンソール用ミューテックスの作成に失敗しました。

X202002

内容) (%d)要求受付のファイル用ミューテックスの作成に失敗しました。

X202003

内容) (%d)OBS制御用ミューテックスの作成に失敗しました。

X202004

内容) (%d)ADM制御用ミューテックスの作成に失敗しました。

X202005

内容) (%d)要求受付スレッドの作成に失敗しました。

X202006

内容) (%d)要求受付の初期処理で例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X202007

内容) (%d)要求受付でイベントの作成に失敗しました。

X203001

内容) (%d)要求受付処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)から要求受付ポート番号の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルの要求受付ポート番号の記述を確認してください。

X203002

内容) (%d)要求受付処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)から要求受付ポート番号の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルの要求受付ポート番号の記述を確認してください。

X203006

内容) (%d)要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X203007

内容) (%d)要求受付処理で制御チェーンの接続が出来ませんでした。

X203008

内容) (%d)要求受付処理でソケットのオープンに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイルの要求受付ポートNo.および、システムのTCP/IPの設定を確認してください。

X203009

内容) (%d)要求受付処理でソケットの非ブロック化に失敗しました。

対処) システムのTCP/IPの設定を確認してください。

X203010

内容) 要求受付処理スレッドの作成に失敗しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

X203011

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X203012

内容) 要求受付用制御チェーンの接続が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

X203013

内容) 要求受付処理で例外が発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X203015

内容) (%d)要求受付処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からポート番号の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、要求受付ポート番号の指定が正しいか確認してください。

X203016

内容) (%d)要求受付処理で環境設定ファイル(hulenv.cnf)からポート番号の読み込みに失敗しました。

対処) システム動作環境設定ファイル(hulenv.cnf)が存在するか、要求受付ポート番号の指定が正しいか確認してください。

X203017

内容) (%d)要求受付処理でソケットのオープンに失敗しました。

対処) 指定した要求受付ポート番号がすでに使用中でないか確認してください。

X203025

内容) 要求受付処理でエラーが発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 要求受付プロセスを再起動してください。

X203026

内容) 要求受付処理スレッドの作成に失敗しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 要求受付プロセスを再起動してください。

X203027

内容) 要求受付処理でメモリの確保が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X203028

内容) 要求受付用制御チェーンの接続が出来ませんでした。エラーのため以後の要求は受け付けられません。

X203029

内容) 要求受付処理で例外が発生しました。エラーのため以後の要求は受け付けられません(エラーコード=%d)。

対処) 何らかの原因により、要求受付プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X203030

- 内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」に不正な値が設定されていました。
- 対処) システム動作環境設定ファイルの内容を確認してください。

X203031

- 内容) システム動作環境設定ファイルで「%s」が存在しません。
- 対処) システム動作環境設定ファイルの内容を確認してください。

X203032

- 内容) 要求受付処理でデータの取得に失敗しました。

X203033

- 内容) (%d)要求受付処理でソケット(IPv4)のオープンに失敗しました。
- 対処) 指定した要求受付ポート番号がすでに使用中でないか確認してください。

X203034

- 内容) (%d)要求受付処理でソケット(IPv6)のオープンに失敗しました。
- 対処) 指定した要求受付ポート番号がすでに使用中でないか確認してください。

3.5.4 配信のエラー (X3xxxxx)

X301001

内容) (%d)utlsend待ちスレッドの作成に失敗しました。

X301005

内容) (%d) プログラム例外が発生しました (makequeue)。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X301006

内容) (%d)メモリ不足が発生しました (add-noexecque allocError)。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X301009

内容) (%d)utlsend待ちパイプの作成に失敗しました。

X301010

内容) (%d)utlsendからのメッセージの受け取りに失敗しました。

X301011

内容) (%d)SDDreq作成スレッド制御用メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X301012

内容) (%d)SDDreq作成スレッドの作成に失敗しました。

X301013

内容) (%d)ソケットオープンに失敗しました。

対処) 指定した配信要求受付ポート番号がすでに使用中でないか確認してください。

X301014

内容) (%d)ソケットの初期化に失敗しました。

X301015

内容) (%d)メモリのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X302009

内容) (%d)SDDtblのアロケートに失敗しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X302023

内容) (%d)配信処理で外字ファイルの読み込みに失敗しました。

対処) 外字ファイル(gtstoe.xtd,gtstoi.xtd,gtstoj.xtd,gtstok.xtd)がHULPATH¥GTF以下に存在するか、またはアクセス権を確認してください。

X302024

内容) (%d)配信処理で未配信ファイルの削除に失敗しました。

対処) 未配信ファイル(sddreqcp.dat)のアクセス権を確認してください。

X302025

内容) (%d)配信処理で再配信待ちファイルの削除に失敗しました。

対処) 再配信待ちファイル(sddreqls.dat)のアクセス権を確認してください。

X302037

内容) (%d)暗号出口ルーチンライブラリのロードに失敗しました。
対処) 暗号出口ルーチンライブラリが存在するか確認してください。

X302038

内容) (%d)暗号出口ルーチン初期化関数の読み込みに失敗しました。
対処) 暗号出口ルーチン初期化関数が存在するか確認してください。

X302039

内容) (%d)暗号出口ルーチン関数の読み込みに失敗しました。
対処) 暗号出口ルーチン関数が存在するか確認してください。

X302040

内容) (%d)暗号出口ルーチン終了関数の読み込みに失敗しました。
対処) 暗号出口ルーチン終了関数が存在するか確認してください。

X303004

内容) (%d)utlSendからのメッセージ読み込み処理でプログラム例外が発生しました。
対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X304002

内容) (%d)再配信待ちファイルの削除に失敗しました。
対処) 再配信待ちファイルにアクセス権を設定してください。

X304004

内容) (%d)再配信待ちファイルの書き込みに失敗しました。
対処) 再配信待ちファイルにアクセス権を設定してください。

X304008

内容) (%d)再配信待ちファイルのロックに失敗しました(削除前)。
対処) 再配信待ちファイルにアクセス権を設定してください。

X304009

内容) (%d)再配信待ちファイルのロックの解除に失敗しました(削除後)。

X304011

内容) (%d)再配信待ちファイル読み込み処理でプログラム例外が発生しました。
対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X305002

内容) (%d)要求リストのメモリアロケートに失敗しました。
対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X305008

内容) (%d)要求リスト追加処理でプログラム例外が発生しました。
対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X305025

内容) (%d)ホスト別多重度リスト領域のアロケートに失敗しました。
対処) 不要なプログラムを停止した後に再度処理を実行してください。

X305026

内容) (%d) キューリスト領域のアロケートに失敗しました。
 対処) 不要なプログラムを停止した後に再度処理を実行してください。

X306001

内容) (%d) プログラム例外が発生しました(getlist)。
 対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X307001

内容) (%d) ワークに作成された要求に誤りがあります。

X307002

内容) (%d) キューリスト領域のアロケートに失敗しました。
 対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X307007

内容) (%d) キューリスト作成処理でプログラム例外が発生しました。
 対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X308001

内容) (%d) 未配信ファイルの削除に失敗しました。
 対処) 未配信ファイルのアクセス権を確認してください。

X308002

内容) (%d) 未配信ファイルの書き込みに失敗しました。
 対処) 未配信ファイルのアクセス権を確認してください。

X308003

内容) (%d) 未配信ファイルの書き込み処理でプログラム例外が発生しました。
 対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X309001

内容) (%d) メモリのアロケートに失敗しました(メイン制御表)。
 対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X309002

内容) (%d) 配信スレッドの生成に失敗しました。

X309003

内容) (%d) 配信スレッドの生成処理でプログラム例外が発生しました。
 対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X311001

内容) (%d) 未配信ファイルにセキュリティがありません。セキュリティを与えてからもう一度立ちあげなおしてください。
 対処) 未配信ファイルのアクセス権を確認してください。

X312001

内容) (%d) プログラム例外が発生しました(gethost)。
 対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X313001

内容) (%d)utlsendへのステータス返却に失敗しました(gethost)。

X313002

内容) (%d)utlsendへのステータス返却処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X314001

内容) (%d)優先度の入れ替え処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X315001

内容) (%d)SDDreq作成スレッド制御用のチェーンのつなぎ替え処理でプログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X316001

内容) (%d)プログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X317001

内容) (%d)プログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X318001

内容) (%d)プログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

X319001

内容) (%d)メモリエラーが発生しました。

対処) 不要なプログラムを停止したのちに再度処理を実行してください。

X319002

内容) (%d)プログラム例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、配信プロセスが不安定になりました。一度プロセスを停止させ、再起動させてください。

3.5.5 スケジューラのエラー (X8xxxxx)

X801025

内容) (%d)終了要求イベントの作成に失敗しました。

X801027

内容) (%d)キャンセル受付・スレッドの作成に失敗しました。

X801028

内容) (%d)当日分スケジュール・スレッドの作成に失敗しました。

X802026

内容) (%d)スケジュール・データ管理リソースの作成に失敗しました。

X803037

内容) (%d)スケジューリング・スレッドで例外が発生しました。

対処) 何らかの原因により、スケジュールプロセスが不安定になりました。スケジュールプロセスを再起動してください。

X806039

内容) リソース不足のためスケジュールID=%sの実行がキャンセルされました。

HULFT7 Windows

エラーコード・メッセージ

2008年 10月 1日 第1版発行

2009年 12月 1日 第3版発行

株式会社 セゾン情報システムズ



SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.